

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市頼兼一丁目 公共下水道事業 三原西処理分区污水管新設工事(3-1工区)に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和2年8月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 2014年度 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
 - ・その他関連規格類

第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第4節 検査

土木工事共通仕様書(令和2年8月広島版)『第3編 1-1-10 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

第5節 情報共有システム(設計金額500万円以上が対象)

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」(以下「ガイドライン」という。)に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用

料を支払うものとする。

- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第6節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第2章 施工条件

第1節 工程

1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物（水道管、ガス管、雨水管などの埋設物あり）
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）
移設時期	必要に応じて、別途協議するものとする。
提出書類	「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

第2節 用地

- 1 借地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

第3節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）

調査内容	柱，屋根，壁，基礎，建具等の傾斜，損傷状況
範囲	別途協議による。

第4節 安全対策

1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は，推進工事3（人／日）を見込んでいる。

第5節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路 特に指定しない。

使用期間 工事施工期間

使用時間 8時30分～17時

工事中・後の処置 随時 清掃， 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第6節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は，公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第7節 仮設工

湧水等により、見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は、任意仮設についても設計変更することができる。

ただし、変更しようとする者は、見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに、適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し、監督員と協議すること。

第8節 工事支障物件

1 地下・地上支障物

支障物件名	水道管，ガス管
管理者	三原市水道部，広島ガス㈱
位 置	協議による
移設時期	協議による

第9節 管内テレビカメラ調査

管内テレビカメラ調査については、下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）（平成25年6月社団法人日本下水道協会）を準拠し実施すること。

第10節 推進工法

受注者は、本工事における推進工法の選定が適切かどうかを照査すること。照査の結果、不適切と判断される場合は、双方協議のうえ、変更することを可能とする。

第11節 薬液注入

1 薬液注入

「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」に基づき施工すること。

「薬液注入工事に係る施工管理等について」に基づき管理すること。

2 周辺環境調査

施工前・中1回・後の3回地下水の水質を調査すること。

第12節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない
保管方法	指定しない

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和2年8月広島版）『第1編 1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

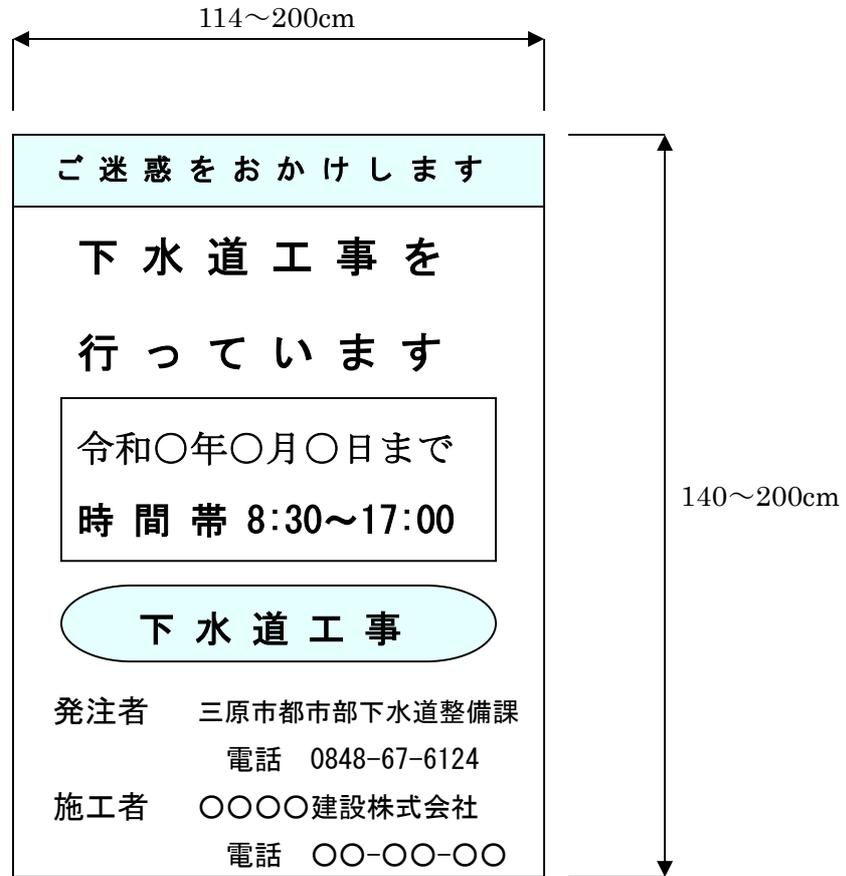
なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 原因調査 | 監督員と協力して行なうものとする。 |
| (2) 補償交渉 | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。 |
| (3) 応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| (4) 補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。 |

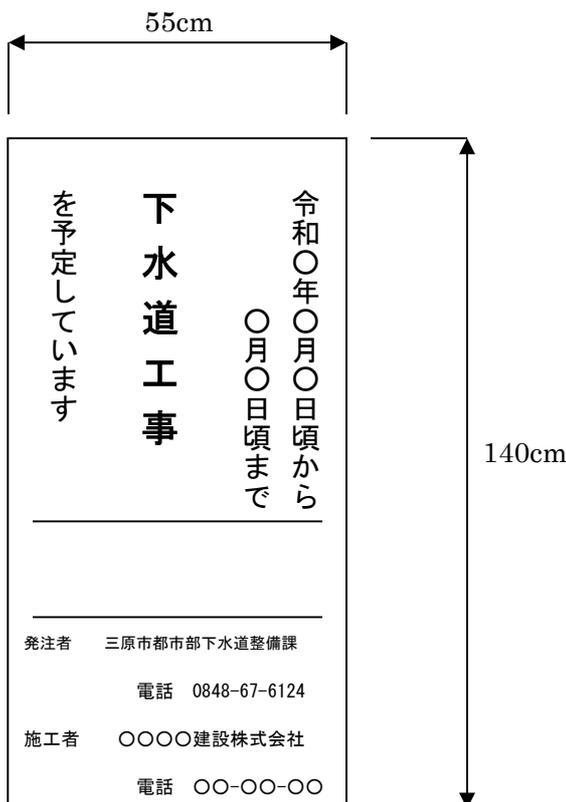
第6章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

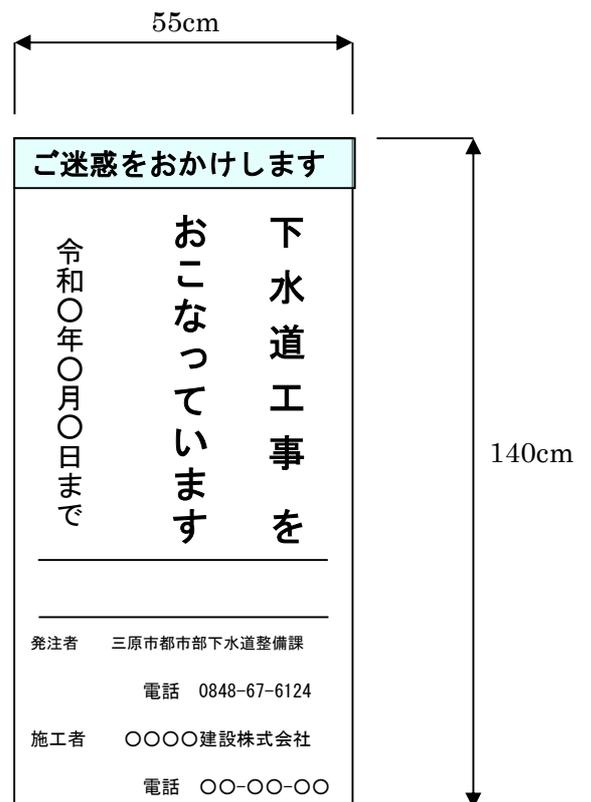
【工事標示板】



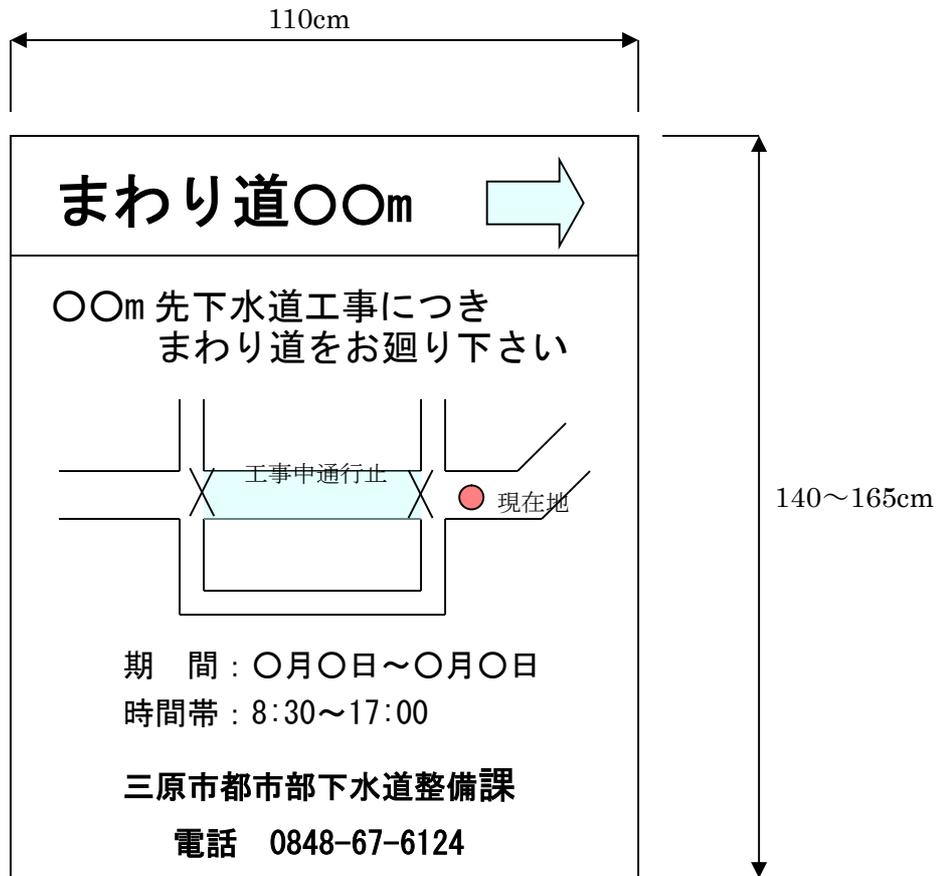
【工事情報看板】



【工事説明看板】



【まわり道案内表示板】



工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
管路施設(推進工法)(小口径推進)		式	1	レベル1
管きょ工(小口径推進)		式	1	レベル2
小口径泥水推進工		式	1	レベル3
低耐荷力推進工(小口径泥水) φ200		式	1	レベル4
立坑内管布設工	φ200	m	0.8	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
低耐荷力推進工(小口径泥水) φ250		式	1	レベル4
立坑内管布設工	φ250	m	1.1	レベル4
推進水替工		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
立坑工		式	1	レベル2
鋼製ケーシング式土留工及び土工 φ2000		式	1	レベル3
鋼製ケーシング圧入掘削		m	6.1	レベル4
底盤コンクリート		箇所	1	レベル4
圧入掘削設備		箇所	1	レベル4
鋼製ケーシング存置		m	5.3	レベル4
仮設ケーシング損料		式	1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
立坑排水		箇所	1	レベル4
排水運搬処理		箇所	1	レベル4
円形覆工板		箇所	2	レベル4
立坑付帯工		式	1	レベル3
立坑埋戻		式	1	レベル4
鋼製ケーシング式土留工及び土工		式	1	レベル3
鋼製ケーシング圧入掘削		m	5	レベル4
底盤コンクリート		箇所	1	レベル4
圧入掘削設備		箇所	1	レベル4
鋼製ケーシング存置		m	4.2	レベル4
仮設ケーシング損料		式	1	レベル4
立坑排水		箇所	1	レベル4
排水運搬処理		箇所	1	レベル4
円形覆工板		箇所	1	レベル4
立坑付帯工		式	1	レベル3
立坑埋戻		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
付帯工		式	1	レベル2

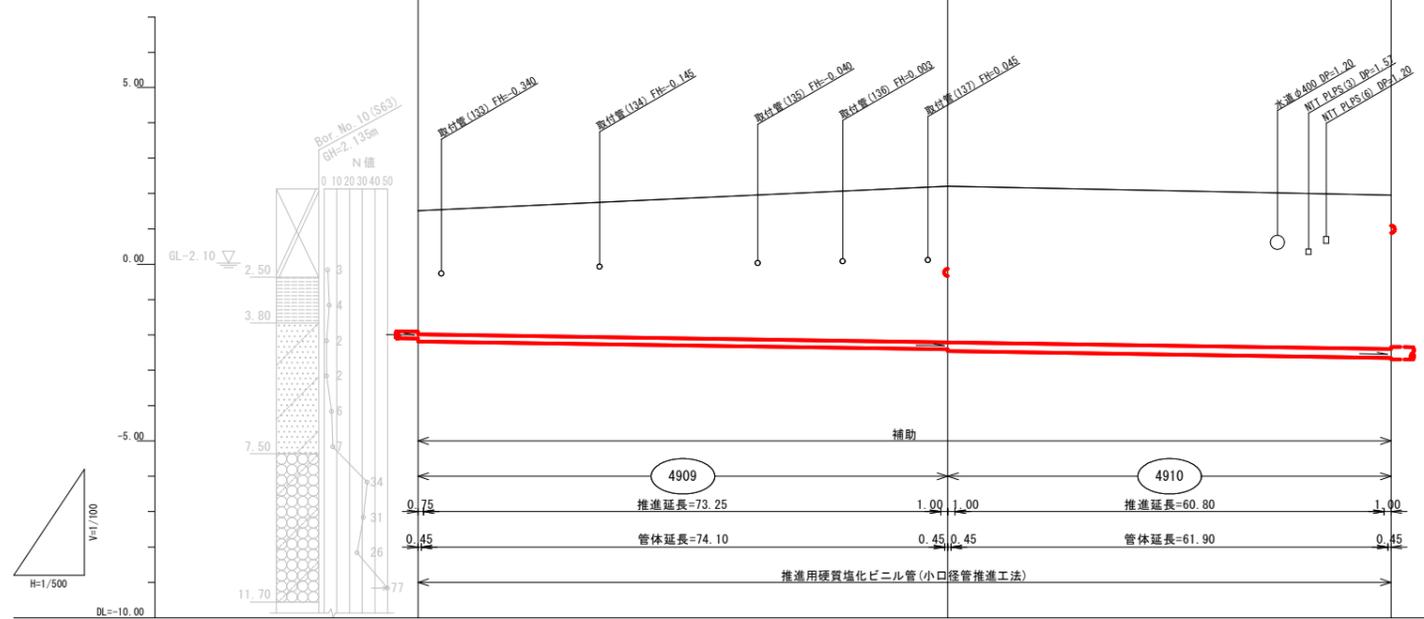
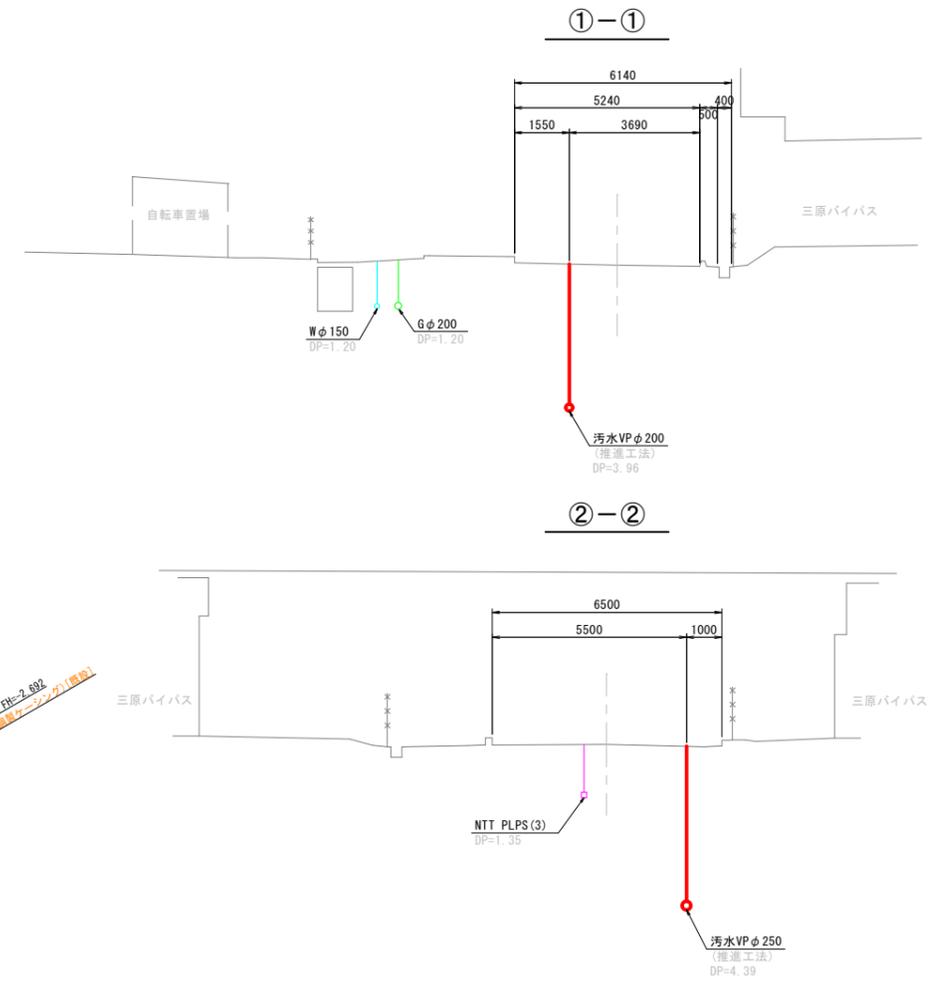
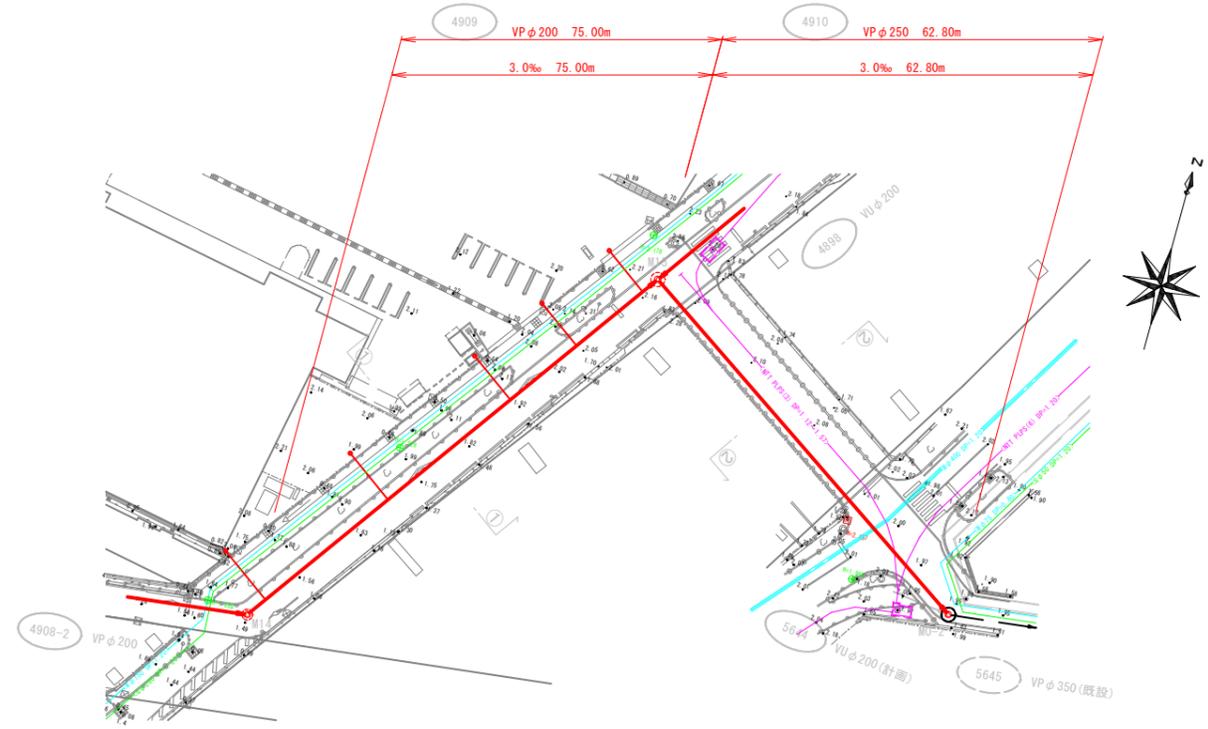
工事数量総括表

頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	22	レベル4
舗装版破碎		m ²	10	レベル4
殻運搬処理		m ³	0.5	レベル4
仮舗装撤去工		式	1	レベル3
仮舗装版切断		m	27	レベル4
舗装版破碎		m ²	15	レベル4
殻運搬処理		m ³	0.6	レベル4
舗装復旧工		式	1	レベル3
表層(車道・路肩部)		m ²	15	レベル4
舗装仮復旧工		式	1	レベル3
下層路盤(車道・路肩部)		m ²	10	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)		m ²	10	レベル4
表層(車道・路肩部)		m ²	10	レベル4
組立マンホール工		式	1	レベル3
組立1号マンホール		箇所	2	レベル4
補助地盤改良工		式	1	レベル3
薬液注入		式	1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	117	レベル4
直接工事費				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3
仮設材運搬費		式	1	レベル4
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
施工調査費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				



管番号	マンホール番号	管種・管径	延長	工法	施工区分
4910	M0-2~M13	VPφ200	62.80	推進	補助
4909	M13~M14	VPφ250	75.00	〃	〃
計			137.80		

※掘削深1.60mを超え2.10m以下の路線は、水替え工を計上する。
※掘削深2.10mを超える路線は、薬液注入工を計上する。

管径	mm	VPφ200	VPφ250
勾配	‰	3.0	3.0
区間距離	m	75.00	62.80
地盤高	″	1.51	2.21
土被	″	3.50	4.42
管底高	″	-2.186	-2.411
掘さく深	″		-2.461
追加距離	″	137.80	62.80
測点		M14	M13

令和3年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)

工事名 三原西処理分区分区汚水管新設工事 (3-1工区)

工事場所 三原市 頼業一丁目

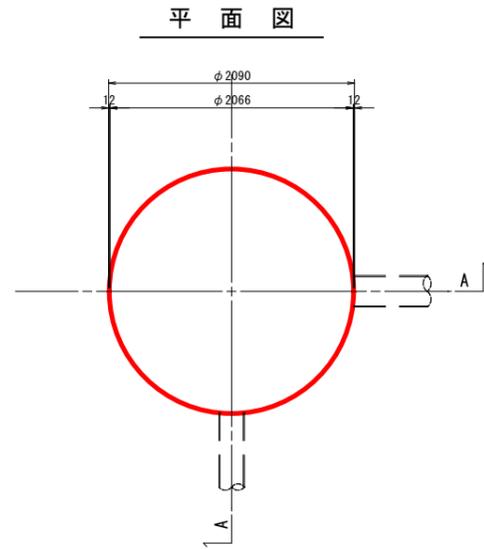
図面番号 縮尺 図示

平面図・縦断面図

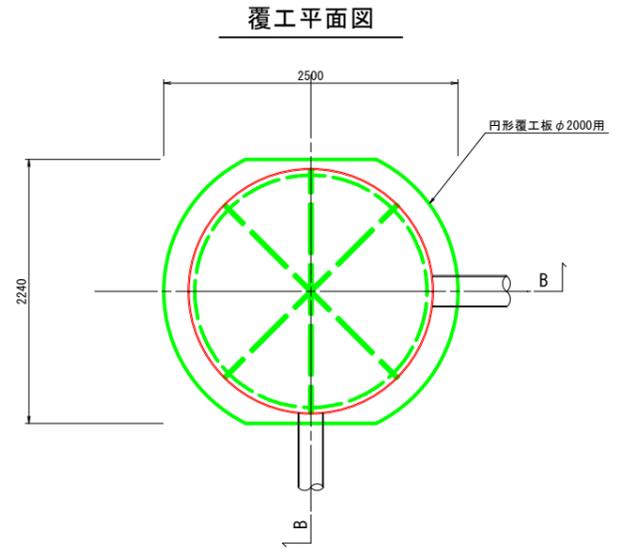
三原市

鋼製ケーシング方式 立坑築造図 S=1:30

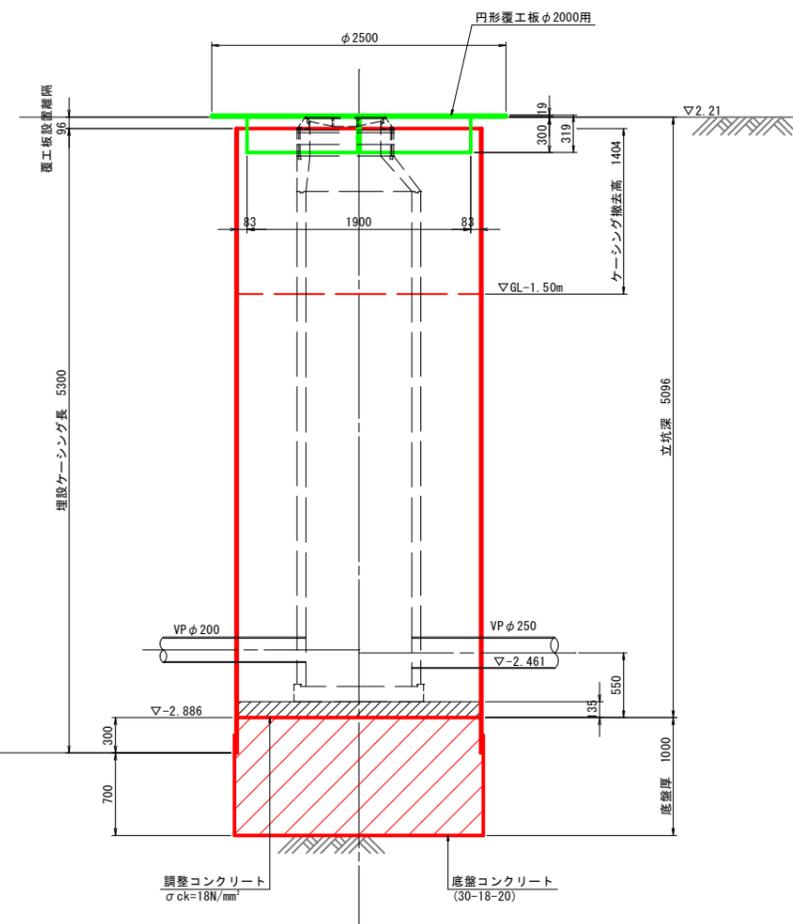
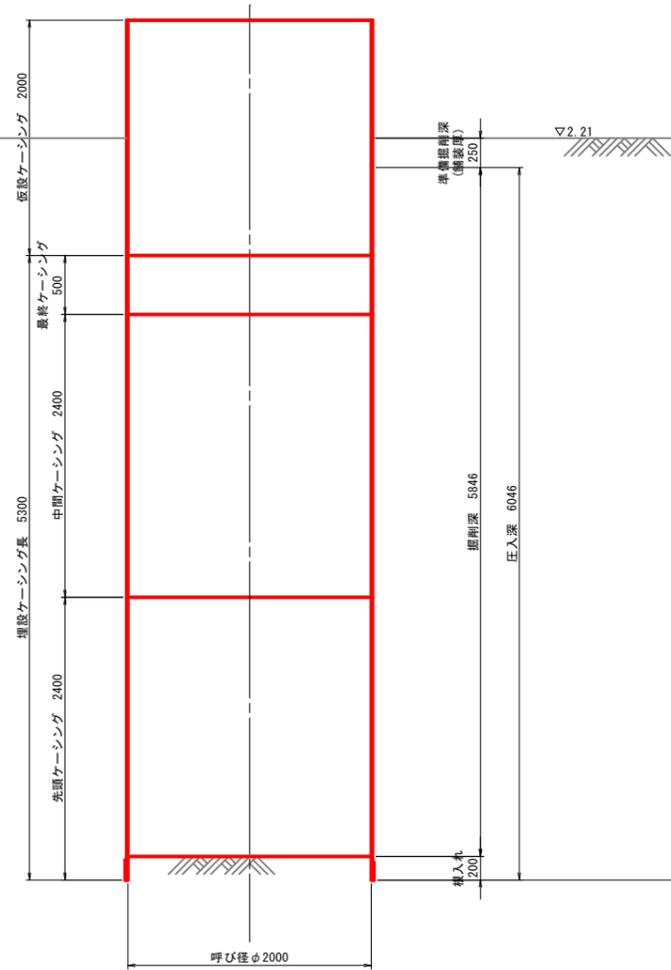
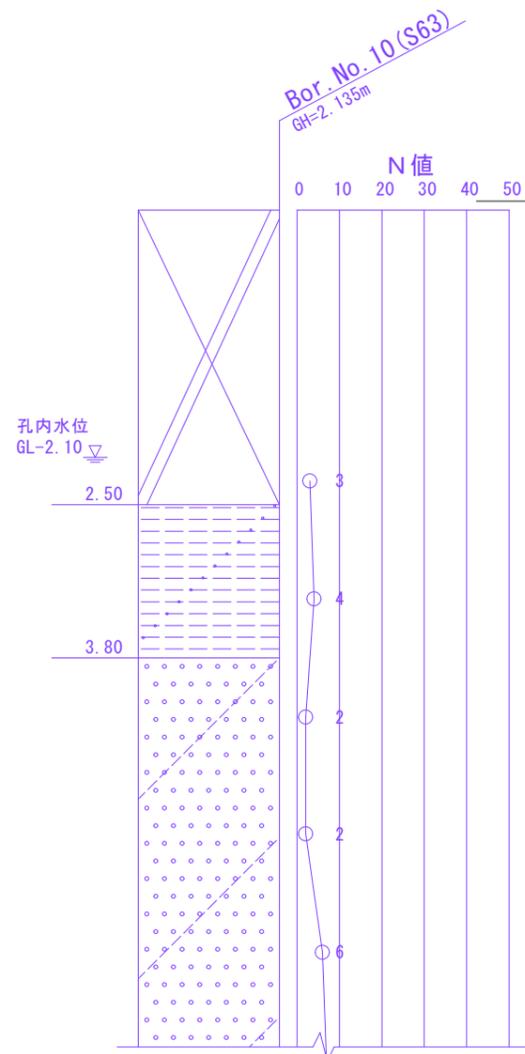
(M-13 φ2000両発進)



A-A断面図
圧入掘削完了時



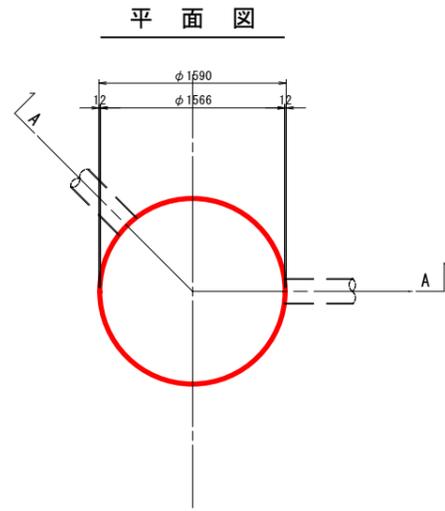
B-B断面図
立坑構築完了時



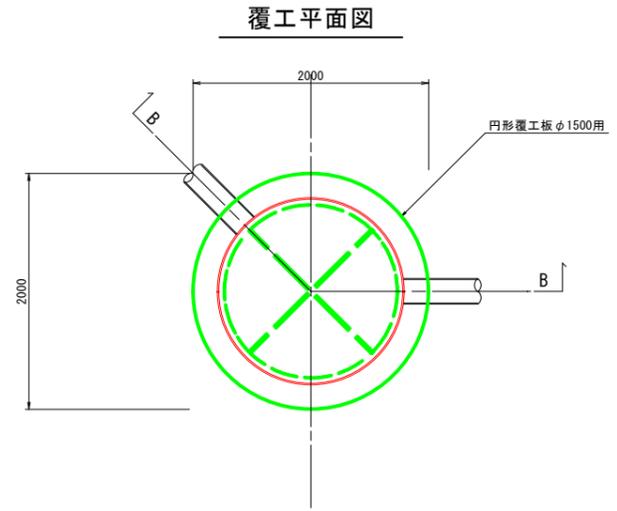
令和3年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)			
工事名	三原西処理分区汚水管新設工事 (3-1工区)		
工事場所	三原市 頼兼一丁目		
図面番号	縮尺	図示	
立坑築造図			
三原市			

鋼製ケーシング方式 立坑築造図 S=1:30

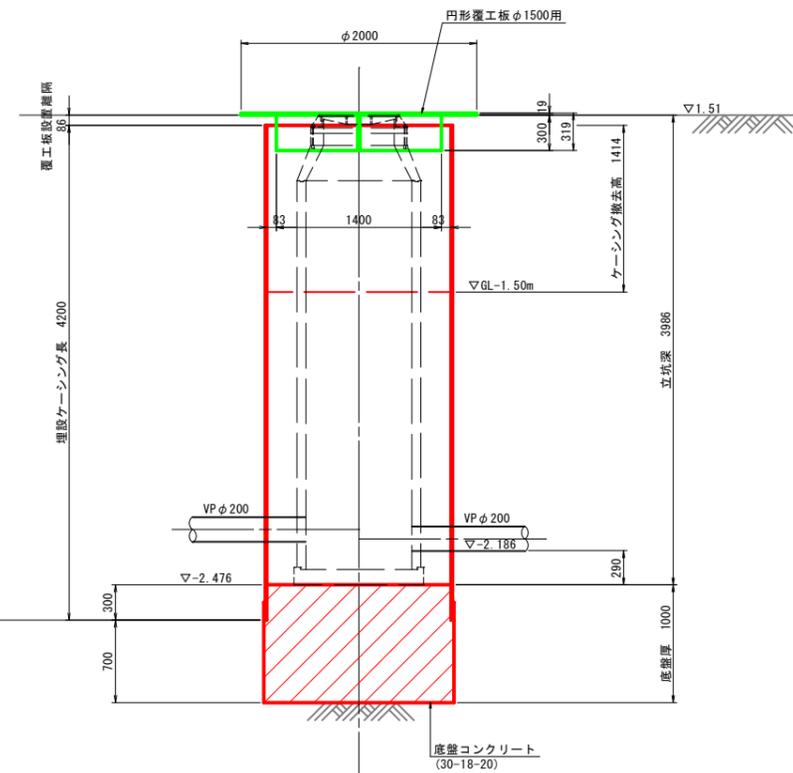
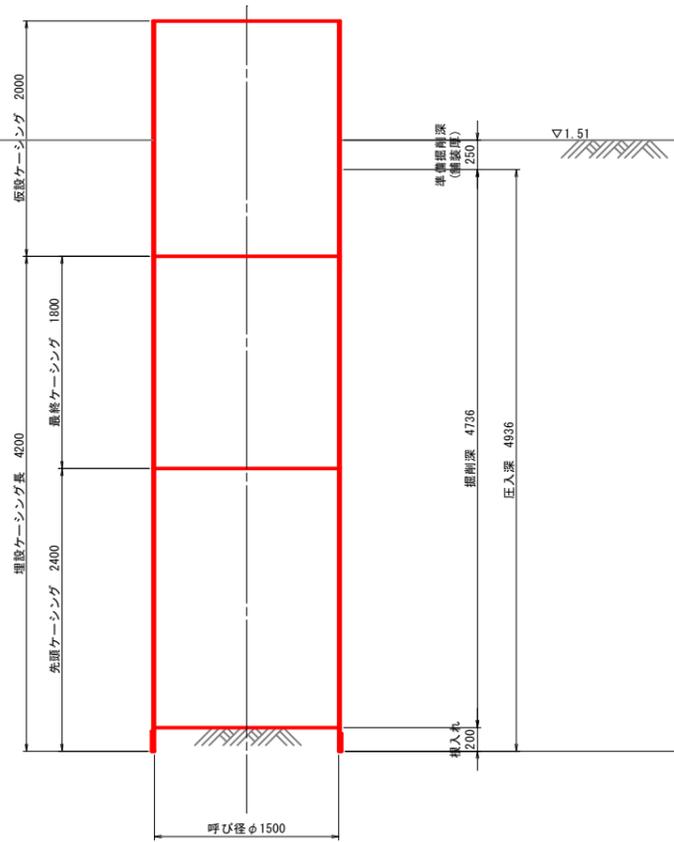
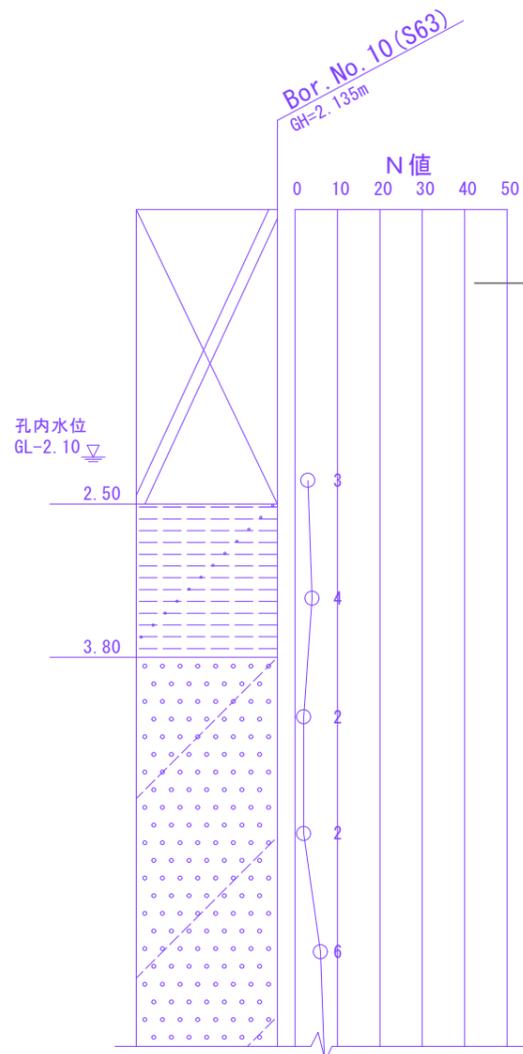
(M-14 φ1500到達)



A-A断面図
圧入掘削完了時



B-B断面図
立坑構築完了時

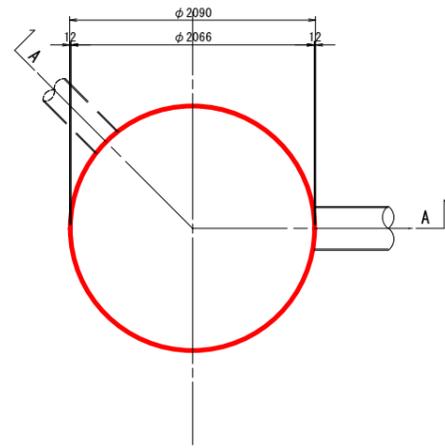


令和3年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)			
工事名	三原西処理分区汚水管新設工事 (3-1工区)		
工事場所	三原市 頼兼一丁目		
図面番号	縮尺	図示	
立坑築造図			
三原市			

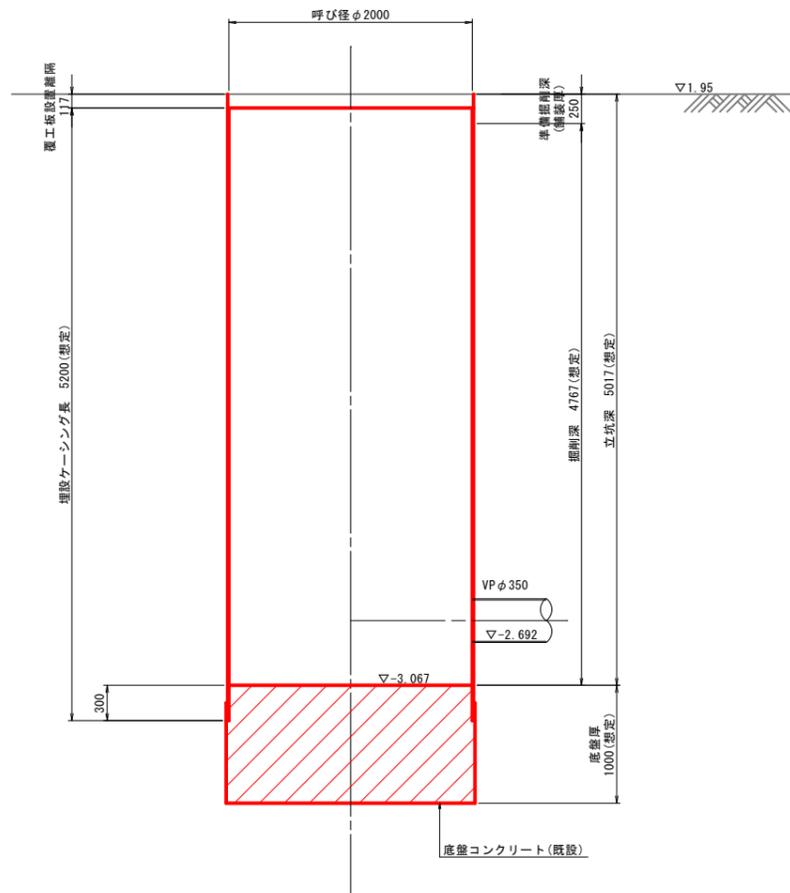
鋼製ケーシング方式 立坑築造図 S=1:30

(M-0-2 φ2000到達 残置立坑)

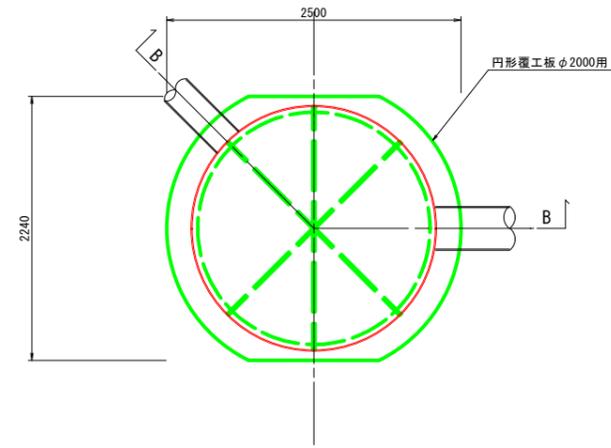
平面図



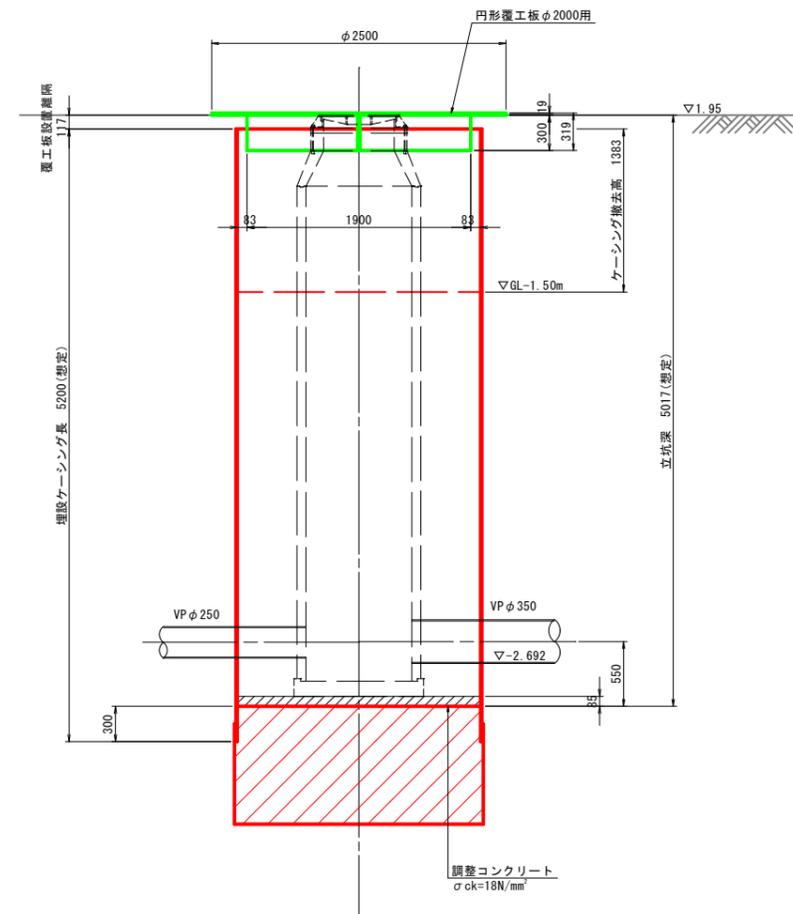
A-A断面図
再掘削完了時



覆工平面図



B-B断面図
立坑構築完了時

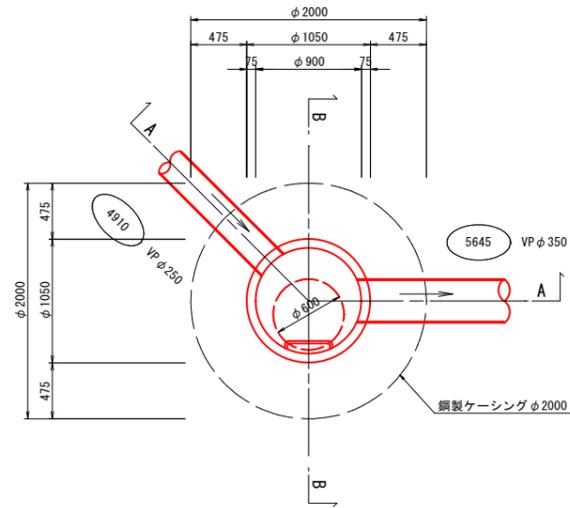


令和3年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)			
工事名	三原西処理分区汚水管新設工事 (3-1工区)		
工事場所	三原市 頼兼一丁目		
図面番号	縮尺	図示	
立坑築造図			
三原市			

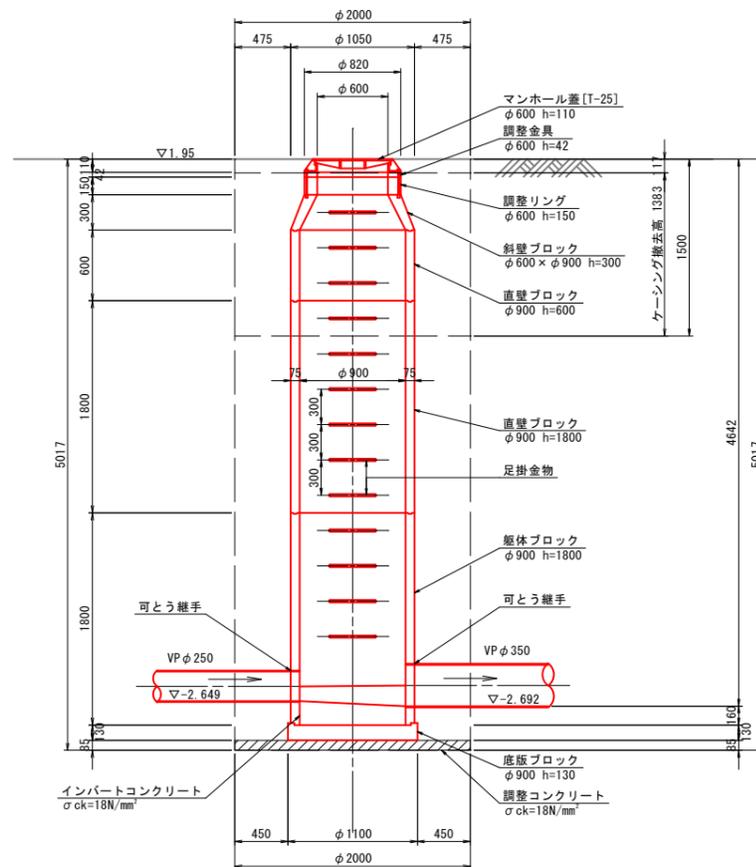
組立 1号マンホール構造図 S=1:30

(M-0-2 φ2000立坑内)

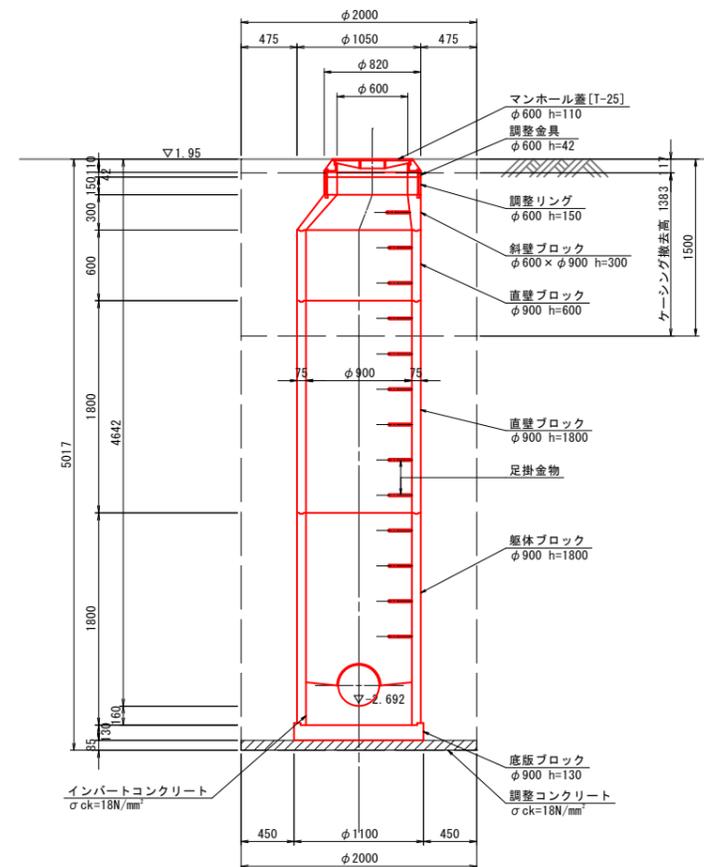
平面図



A-A断面図



B-B断面図

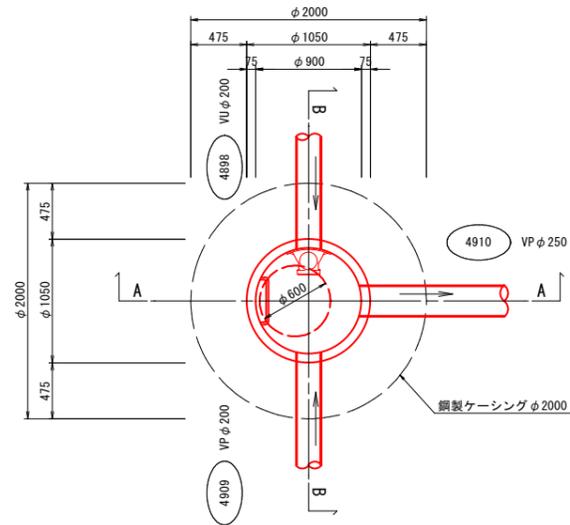


令和3年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)			
工事名	三原西処理分区汚水管新設工事 (3-1工区)		
工事場所	三原市 頼兼一丁目		
図面番号	縮尺	図示	
マンホール構造図			
三原市			

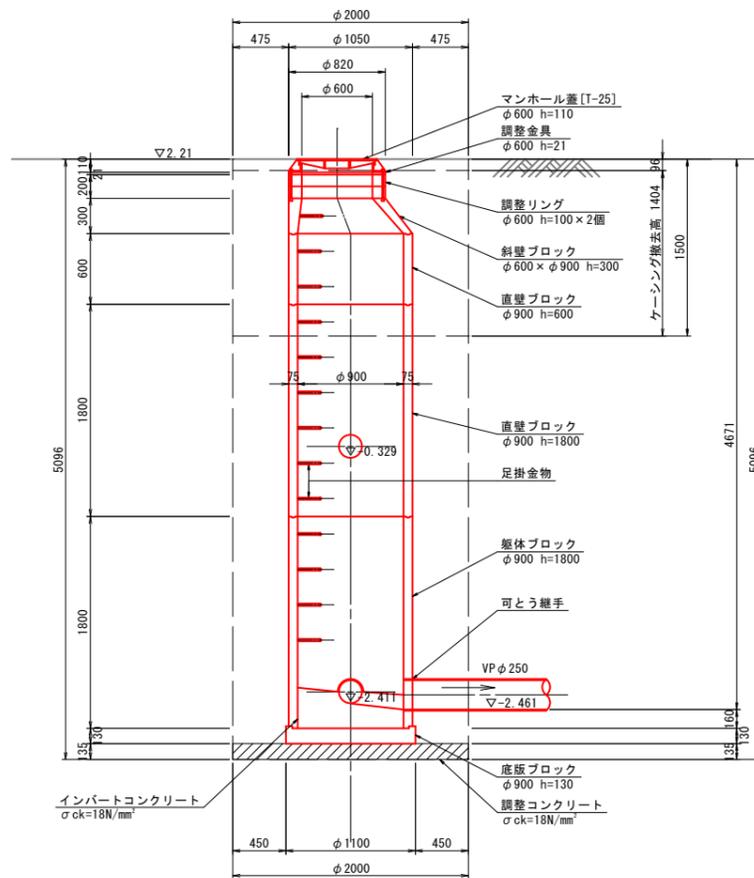
組立1号マンホール構造図 S=1:30

(M-13 φ2000立坑内)

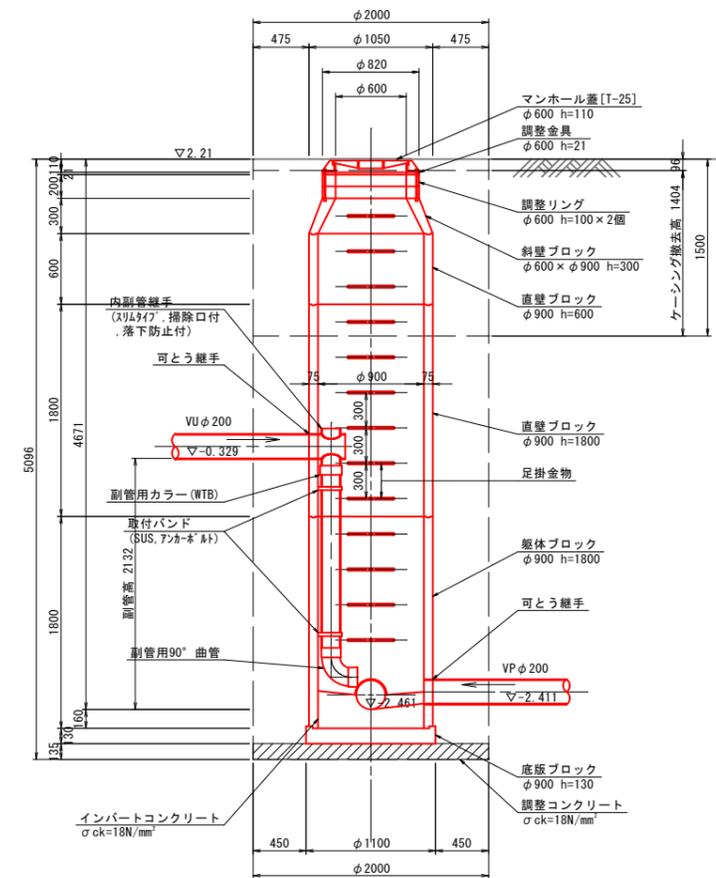
平面図



A-A断面図



B-B断面図



令和3年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)			
工事名	三原西処理分区分汚水管新設工事 (3-1工区)		
工事場所	三原市 頼兼一丁目		
図面番号	縮尺	図示	
マンホール構造図			
三原市			

— 参 考 资 料 —

三原西处理分区污水管新设工事(3-1工区)

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-03.07.01(0) 1 公共(一般)		<<凡例>> Co・・・コンクリート As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 ICT補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	31 下水道工事(2) 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(推進工法)(小口径推進)					Y1I02 レベル1
管きょ工(小口径推進)	1	式			Y1I0201 レベル2
小口径泥水推進工	1	式			Y1I020103 レベル3
低耐荷力推進工(小口径泥水) φ200	1	式			Y1I02010301 レベル4
管推進工 φ200mm 低耐荷力推進工	1	式			V00010 00
仮設備工	1	式			単第0 -0001 表 V00030 00
送排泥及び泥水処理設備工	1	式			単第0 -0011 表 V00050 00
立坑内管布設工 φ200	1	式			単第0 -0020 表 Y1I02010301 レベル4
	0.8	m			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 200mm	0.8	m			SG1D0006001 00 単第0 -0024 表
発生土処理	1	式			Y1I02010302レベル4
ダンプトラック運搬 バックホウ (山積0.28m3) 砂 運搬距離7.2km DID有	3	m3			SQ000015 00 単第0 -0025 表
泥水運搬処理	3	m3			V00058 00 単第0 -0027 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
残土受入費	3	m3			F0000000017 00 大地産業
泥水	3	m3			F0000000027 00 ブラザー技研
低耐荷力推進工(小口径泥水) φ250	1	式			Y1I02010301レベル4
管推進工 φ250mm 低耐荷力推進工	1	式			V00060 00 単第0 -0030 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設備工	1	式			V00070 00 単第0 -0038 表
送排泥及び泥水処理設備工	1	式			V00080 00 単第0 -0042 表
立坑内管布設工 φ 250	1.1	m			Y1I02010301 レベル4
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 250mm	1.1	m			SG1D0006001 00 単第0 -0049 表
推進水替工	1	式			Y1I02010301 レベル4
ポンプ運転工	15	日			SG1D0042001 00 単第0 -0050 表
発生土処理	1	式			Y1I02010302 レベル4
ダンプトラック運搬 バックホウ (山積0.28m ³) 砂 運搬距離7.2km DID有	3	m ³			SQ000015 00 単第0 -0025 表
泥水運搬処理	5	m ³			V00058 00 単第0 -0027 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
残土受入費	3	m3			F000000017 00 大地産業
泥水	5	m3			F000000027 00 ブラザー技研
立坑工					Y1I0202 レベル2
鋼製ケーシング式土留工及び土工 φ2000	1	式			Y1I020204 レベル3
鋼製ケーシング圧入掘削	1	式			Y1I02020401 レベル4
	6.1	m			
圧入掘削積込み工 呼び径 2,000mm 粘性土	1.3	m			SG1D0602001 00 単第0 -0052 表
圧入掘削積込み工 呼び径 2,000mm 砂質土	4.8	m			SG1D0602001 00 単第0 -0055 表
ケーシング溶接工 呼び径 2,000mm	1	箇所			SG1D0602002 00 単第0 -0056 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ケーシング引上げ工 呼び径 2,000mm 引上げ延長	1	箇所			SG1D0602003 00 単第0 -0058 表
ケーシング撤去工 呼び径 2,000mm	1	箇所			SG1D0602004 00 単第0 -0060 表
ケーシング切断工	24	m			SG1E0602003 00 単第0 -0062 表
底盤コンクリート	1	箇所			Y1I02020402 レベル4
底盤コンクリート打設工	3	m ³			SG1D0603001 00 単第0 -0063 表
圧入掘削設備	1	箇所			Y1I02020403 レベル4
機械設置撤去工 呼び径 2,000mm	1	回			SG1D0604001 00 単第0 -0064 表
鋼製ケーシング存置	5.3	m			Y1I02020404 レベル4
鋼製ケーシング φ2000 t=12mm	5.3	m			F0000000035 00

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
刃先製作取付 φ2000	1	個			F000000037 00
【諸経費対象外】					#0046
スクラップ 鋼板・鋼矢板等 6mm以上	-1.7	t			F000000039 00
仮設ケーシング損料	1	式			Y1I02020405レベル4
仮設ケーシング損料 呼び径2000	1	回			F000000030 00
立坑排水	1	箇所			Y1I02020406レベル4
うわ水排水工	1	箇所			SG1D0607001 00
排水運搬処理	1	箇所			単第0 -0065 表 Y1I02020407レベル4
スライム処理工	1	箇所			SG1D0608001 00
	1	箇所			単第0 -0066 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
泥水運搬処理	1	m3			V00058 00 単第0 -0027 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
産業廃棄物処理費 セメントミルク汚泥	1	m3			F0000000040 00
円形覆工板	2	箇所			Y1I02020408 レベル4
円形覆工板設置工 呼び径 2,000mm	2	箇所			SG1D0609001 00 単第0 -0067 表
円形覆工板撤去工 呼び径 2,000mm	2	箇所			SG1D0609002 00 単第0 -0068 表
円形覆工板賃料 φ 2000 T-25	2	月			F0000000033 00 30～90日以内使用
円形覆工板賃料 φ 2000 T-25	1	月			F0000000032 00 30日以内使用
円形覆工板整備料 φ 2000 T-25	2	回			F0000000042 00

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
立坑付帯工					Y1I020201 レベル3
	1	式			
立坑埋戻					Y1I02020102レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	20	m3			単第0 -0069 表
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)					SG1E0003002 00
	10	m3			単第0 -0072 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
残土受入費					F0000000017 00
	10	m3			大地産業
鋼製ケーシング式土留工及び土工					Y1I020204 レベル3
	1	式			
鋼製ケーシング圧入掘削					Y1I02020401レベル4
	5	m			
圧入掘削積込み工 呼び径 1,500mm 粘性土					SG1D0602001 00
	1.3	m			単第0 -0074 表

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
圧入掘削積込み工 呼び径 1,500mm 砂質土	3.7	m			SG1D0602001 00 単第0 -0077 表
ケーシング溶接工 呼び径 1,500mm	1	箇所			SG1D0602002 00 単第0 -0078 表
ケーシング引上げ工 呼び径 1,500mm 引上げ延長	1	箇所			SG1D0602003 00 単第0 -0079 表
ケーシング撤去工 呼び径 1,500mm	1	箇所			SG1D0602004 00 単第0 -0081 表
ケーシング切断工	10	m			SG1E0602003 00 単第0 -0062 表
底盤コンクリート	1	箇所			Y1I02020402レベル4
底盤コンクリート打設工	2	m3			SG1D0603001 00 単第0 -0063 表
圧入掘削設備	1	箇所			Y1I02020403レベル4
機械設置撤去工 呼び径 1,500mm	1	回			SG1D0604001 00 単第0 -0082 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼製ケーシング存置					Y1I02020404レベル4
	4.2	m			
鋼製ケーシング φ1500 t=12mm					F000000036 00
	4.2	m			
刃先製作取付 φ1500					F000000038 00
	1	個			
【諸経費対象外】					#0046
スクラップ 鋼板・鋼矢板等 6mm以上					F000000039 00
	-0.7	t			
仮設ケーシング損料					Y1I02020405レベル4
	1	式			
仮設ケーシング損料 呼び径1500					F000000029 00
	1	回			
立坑排水					Y1I02020406レベル4
	1	箇所			
うわ水排水工					SG1D0607001 00
	1	箇所			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水運搬処理	1	箇所			Y1I02020407レベル4
スライム処理工	1	箇所			SG1D0608001 00
【直接工事費に含まれる処分費等】					単第0 -0066 表 #0041
産業廃棄物処理費 セメントミルク汚泥	0.7	m3			F0000000040 00
円形覆工板	1	箇所			Y1I02020408レベル4
円形覆工板設置工 呼び径 1,500mm	1	箇所			SG1D0609001 00
円形覆工板撤去工 呼び径 1,500mm	1	箇所			単第0 -0083 表 SG1D0609002 00
円形覆工板賃料 φ1500 T-25	1	月			単第0 -0084 表 F0000000031 00
円形覆工板整備料 φ1500 T-25	1	回			30日以内使用 F0000000041 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
立坑付帯工	1	式			Y1I020201 レベル3
立坑埋戻	1	式			Y1I02020102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	3	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0069 表
発生土処理	1	式			Y1I01010103 レベル4
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)	5	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0072 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
残土受入費	5	m3			F0000000017 00 大地産業
付帯工	1	式			Y1I0204 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y1I020401 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断	22	m			Y1I02040101 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	22	m			SPK20040308 00 単第0 -0085 表
舗装版破碎	10	m2			Y1I02040102 レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	10	m2			SPK20040307 00 単第0 -0086 表
殻運搬処理	0.5	m3			Y1I02040105 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要, 舗装版 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	0.5	m3			SPK20040146 00 単第0 -0087 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
アスファルト殻受入れ費	2	t			F000000043 00 山田建設 0.51+0.31m3
仮舗装撤去工	1	式			Y1I020401 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮舗装版切断	27	m			Y1I02040101 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	27	m			SPK20040308 00 単第0 -0085 表
舗装版破碎	15	m2			Y1I02040102 レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	15	m2			SPK20040307 00 単第0 -0086 表
殻運搬処理	0.6	m3			Y1I02040105 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要, 舗装版 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超)	0.6	m3			SPK20040146 00 単第0 -0087 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
アスファルト殻受入れ費	1	t			F000000043 00 山田建設
舗装復旧工	1	式			Y1I020403 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(車道・路肩部)	15	m2			Y1I02040308 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm	15	m2			SPK20040241 00 単第0 -0088 表
舗装仮復旧工	1	式			Y1I020404 レベル3
下層路盤(車道・路肩部)	10	m2			Y1I02040402 レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	10	m2			SPK20040232 00 単第0 -0089 表
上層路盤(車道・路肩部)	10	m2			Y1I02040404 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚120mm 1層施工	10	m2			SPK20040234 00 単第0 -0090 表
表層(車道・路肩部)	10	m2			Y1I02040408 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚30mm	10	m2			SPK20040241 00 単第0 -0091 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
組立マンホール工					Y1I010202 レベル3
	1	式			
組立1号マンホール					Y1I01020202レベル4
	2	箇所			
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ4m超~5m以下					SG1D0053002 00
	2	箇所			単第0 -0092 表
汚水用人孔鉄蓋 φ600用T-25デザイン入密閉ロック式					F0000000044 00
	2	組			
変形防止調整金具					F0000000048 00
	2	箇所			
無収縮モルタル 25kg袋					TH003190 00
	1	袋			
マンホール付属品 調整リング 600×100					TH003100 00
	2	個			
マンホール付属品 調整リング 600×150					TH003102 00
	1	個			
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×300					TH003064 00
	2	個			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形1号(内径900)I種 直壁 900×600	2	個			TH003072 00
円形1号(内径900)I種 直壁 900×1800	2	個			TH003080 00
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1800	2	個			TH003094 00
円形1号(内径900)I種 底版 H=130	2	個			TH003096 00
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用, 径200用	2	個所			TH003130 00
マンホール用可とう継手 推進用VUφ250組立人孔用	2	組			F0000000045 00
マンホール用可とう継手 推進用VUφ200組立人孔用	1	組			F0000000046 00
補助地盤改良工	1	式			Y1I020210 レベル3
薬液注入	1	式			Y1I02021001 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
薬液注入工	5	本			SG1D0039001 00 単第0 -0093 表
薬液注入工	5	本			SG1D0039001 00 単第0 -0097 表
薬液注入工	5	本			SG1D0039001 00 単第0 -0093 表
薬液注入工	5	本			SG1D0039001 00 単第0 -0098 表
注入設備据付・解体工(車上)	1	現場			SG1D0039004 00 単第0 -0099 表
全工種共通仮設	1	式			Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101 レベル4
	117	人			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B	117	人			R0369 00
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
仮設材運搬費	1	式			YZZ04001004 レベル4
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 1.7km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00
技術管理費					単第0 -0102 表 Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
施工調査費	1	式			YZZ06001006 レベル4
管路調査工	136	m			V00100 00 単第0 -0105 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額……… 率………					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					
** 工事原価 **					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理费率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報…… 対象額…… 率……					
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

推進工

V00012

単第0 -0003 表

頁0 -0025

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	2	人			
滑剤	141	L			
クレーン付トラック運転 ベーストラック4 t級・2.9 t吊	1	日			単第0-0004 表
推進機械器具損料 (1)	1	日			単第0-0005 表
推進工機械器具損料 (2)	1	日			単第0-0006 表
推進工機械器具損料 (3)	1	日			単第0-0008 表
雑材料	20	%			#01
全体割増		m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

坑口工

V00031

単第0 -0012 表

頁0 -0034

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.2	人			
溶接工	0.2	人			
普通作業員	0.2	人			
止水器 φ200用	1	組			
鋼材溶接工	1.9	m			単第0-0013 表
鋼材切断工	3.8	m			単第0-0014 表
クレーン付トラック運転 ベーストラック4 t級・2.9 t吊	0.2	日			単第0-0004 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施工単価表

ダンプトラック運転

S9050

単第0 -0026 表

オンロード・ディーゼル・4 t積級

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	42.00	L			
運転手(一般)	1.00	人			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.16	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.16	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 オンロード・ディーゼル・4 t 積級 C=42 軽油消費量 (L/日) E=1 路面状況: 良好 G=0 労務単価の夜間等割増率			B=1 運転労務数量 (人/日) D=1.16 機械損料数量 (供用日/日) F=1		

施工単価表

推進工

V00062

単第0 -0032 表

頁0 -0054

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	2	人			
普通作業員	2	人			
滑剤	156.6	L			
クレーン付トラック運転 ベーストラック4t級・2.9t吊	1	日			単第0-0004 表
推進機械器具損料 (1)	1	日			単第0-0033 表
推進工機械器具損料 (2)	1	日			単第0-0034 表
推進工機械器具損料 (3)	1	日			単第0-0036 表
雑材料	20	%			#01
全体割増		m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

坑口工

V00071

単第0 -0039 表

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.2	人			
溶接工	0.2	人			
普通作業員	0.2	人			
止水器 φ250用	1	組			
鋼材溶接工	2.1	m			単第0-0013 表
鋼材切断工	4.2	m			単第0-0014 表
クレーン付トラック運転 ベーストラック4t級・2.9t吊	0.2	日			単第0-0004 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施工単価表

圧入掘削積込み工
呼び径 2,000mm

SG1D0602001

単第0 -0052 表

粘性土

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.123	人			
特殊作業員	0.123	人			
普通作業員	0.246	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 2,000mm	0.8	時間			単第0-0053 表
機-01_ドラグライン及びクラムシエル運転 061_油圧クラムシエル テレスコピック バケット容量(平積0.4m ³)	0.421	時間			単第0-0054 表 0.8/1.9
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.123	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 粘性土 C=3 呼び径 2,000mm E=28 圧入機損料【登録単価CODE】(時間)			B=1 適用範囲 N≤5 D=1 揺動圧入機 F=7.4 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

圧入掘削積込み工
呼び径 2,000mm

SG1D0602001

単第0 -0055 表

砂質土

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.138	人			
特殊作業員	0.138	人			
普通作業員	0.277	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 2,000mm	0.9	時間			単第0-0053 表
機-01_ドラグライン及びクラムシエル運転 061_油圧クラムシエル テレスコピック バケット容量(平積0.4m ³)	0.474	時間			単第0-0054 表 0.9/1.9
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.138	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 砂質土 C=3 呼び径 2,000mm E=28 圧入機損料【登録単価CODE】(時間)			B=3 適用範囲 N≤30 D=1 揺動圧入機 F=7.4 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

ケーシング引上げ工
呼び径 2,000mm

SG1E0602002

単第0 -0059 表

揺動圧入機

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.62	人			
特殊作業員	0.62	人			
普通作業員	1.24	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 2,000mm	5.0	時間			単第0-0053 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.62	日			
諸雑費	1	式			
1m当り					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 呼び径 2,000mm C=28 圧入機損料【登録単価CODE】(時間)			B=1 揺動圧入機 D=7.4 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

ケーシング撤去工
呼び径 2,000mm

SG1D0602004

単第0 -0060 表

1 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.07	人			
特殊作業員	0.07	人			
普通作業員	0.07	人			
トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	0.53	時間			単第0-0061 表
ケーシング切断工	11.283	m			単第0-0062 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=3 呼び径 2,000mm			B=1.25	ケーシング撤去長(m)	

施工単価表

底盤コンクリート打設工

SG1D0603001

単第0 -0063 表

頁0 -0085

1

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.26	人			
特殊作業員	0.26	人			
普通作業員	0.52	人			
レディーミクストコンクリート 呼び強度30, スランプ15	10.4	m3			
諸雑費	2	%			#09
1m3当り					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 地下水位以下等の場合 C=1 -			B=34	水中コンクリート【登C】(m3)	

施工単価表

機械設置撤去工
呼び径 2,000mm

SG1D0604001

単第0 -0064 表

1 回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.17	人			
特殊作業員	0.17	人			
普通作業員	0.34	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 2,000mm	1.4	時間			単第0-0053 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1, 2次基準値)低騒音	0.17	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	回			
A=3 呼び径 2,000mm C=28 圧入機損料【登録単価CODE】(時間)			B=1 D=7.4		揺動圧入機 圧入機の燃料消費量(L/時間)

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0069 表

頁0 -0091

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0070 表
タンパ締固め	100	m3			単第0-0071 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3			C=6 材料別途		

施工単価表

頁0 -0093

タンパ締固め

SPK20040020

単第0 -0071 表

機械構成比: 1.39% 労務構成比: 97.22% 材料構成比: 1.39% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,398.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.39%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.95%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.39%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

ダンプトラック運転

SM2203010

単第0 -0073 表

011_オンロード ディーゼル

4t積級

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	34.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011_オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=2 4t積級 D=34 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

施工単価表

圧入掘削積込み工
呼び径 1,500mm

SG1D0602001

単第0 -0074 表

粘性土

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.123	人			
特殊作業員	0.123	人			
普通作業員	0.246	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 1,500mm	0.8	時間			単第0-0075 表
機-01_ドラグライン及びクラムシエル運転 061_油圧クラムシエル テレスコピック バケット容量(平積0.15~0.2m3)	0.421	時間			単第0-0076 表 0.8/1.9
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.123	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 粘性土 C=1 呼び径 1,500mm E=28 圧入機損料【登録単価CODE】(時間)			B=1 適用範囲 N≤5 D=1 揺動圧入機 F=7.4 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

圧入掘削積込み工
呼び径 1,500mm

SG1D0602001

単第0 -0077 表

砂質土

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.138	人			
特殊作業員	0.138	人			
普通作業員	0.277	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 1,500mm	0.9	時間			単第0-0075 表
機-01_ドラグライン及びクラムシエル運転 061_油圧クラムシエル テレスコピック バケット容量(平積0.15~0.2m3)	0.474	時間			単第0-0076 表 0.9/1.9
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.138	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 砂質土 C=1 呼び径 1,500mm E=28 圧入機損料【登録単価CODE】(時間)			B=3 適用範囲 N≤30 D=1 揺動圧入機 F=7.4 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

ケーシング引上げ工
呼び径 1,500mm

SG1E0602002

単第0 -0080 表

揺動圧入機

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.62	人			
特殊作業員	0.62	人			
普通作業員	1.24	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 1,500mm	5.0	時間			単第0-0075 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.62	日			
諸雑費	1	式			
1m当り					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 呼び径 1,500mm C=28 圧入機損料【登録単価CODE】(時間)			B=1 揺動圧入機 D=7.4 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

ケーシング撤去工

SG1D0602004

単第0 -0081 表

1

箇所 当り

呼び径 1,500mm

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.07	人			
特殊作業員	0.07	人			
普通作業員	0.07	人			
トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	0.53	時間			単第0-0061 表
ケーシング切断工	8.312	m			単第0-0062 表
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	箇所			
A=1 呼び径 1,500mm			B=0.9	ケーシング撤去長(m)	

施工単価表

機械設置撤去工
呼び径 1,500mm

SG1D0604001

単第0 -0082 表

1 回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.17	人			
特殊作業員	0.17	人			
普通作業員	0.34	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 1,500mm	1.4	時間			単第0-0075 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.17	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	回			
A=1 呼び径 1,500mm C=28 圧入機損料【登録単価CODE】(時間)			B=1 D=7.4		揺動圧入機 圧入機の燃料消費量(L/時間)

施工単価表

頁0 -0107

舗装版切断

SPK20040308

単第0 -0085 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.29%

労務構成比:

54.24%

材料構成比:

39.47%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

558.1000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	4.25%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.56%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	36.63%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎

SPK20040307

単第0 -0086 表

アスファルト舗装版

障害無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 9.77%

労務構成比:

81.96%

材料構成比:

8.27%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

166.23000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.77%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00004 KTPT00004
土木一般世話役	29.03%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	28.06%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.87%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	8.27%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 F=1	アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り		B=1 D=1 G=1	障害無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)	

施工単価表

殻運搬 SPK20040146 単第0 -0087 表
 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要, 舗装版 DID区間有り 運搬距離6.0km以下(3.5km超) 1 m3 当り
 機械構成比: 47.71% 労務構成比: 37.09% 材料構成比: 15.20% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 2,623.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	47.71%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	37.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	15.20%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(騒音対策不要, 舗装版厚15cm以下) D=22 運搬距離6.0km以下(3.5km超)		

施工単価表

頁0 -0111

表層(車道・路肩部)

SPK20040241

単第0 -0088 表

平均幅員1.4m以上3.0m以下

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.81%

労務構成比:

13.91%

材料構成比:

84.28%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,634.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4~3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.21%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.25%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.22%		タイヤローラ 質量3~4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.96%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	3.41%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.36%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	1.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK20040241

単第0 -0088 表

平均幅員1.4m以上3.0m以下

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.81%

労務構成比:

13.91%

材料構成比:

84.28%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,634.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	76.98%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.05%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.24%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0113

下層路盤(車道・路肩部)

SPK20040232

単第0 -0089 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.24%

労務構成比:

15.30%

材料構成比: 79.46%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,074.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	2.12%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	1.64%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.53%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	7.04%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.47%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	2.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	0.68%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK20040232

単第0 -0089 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.24%

労務構成比:

15.30%

材料構成比: 79.46%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,074.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシュラン 40~0mm	78.05%		クラッシュラン 40~0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00008 TTPT00346
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.16%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0115

上層路盤(車道・路肩部)

SPK20040234

単第0 -0090 表

RM-30

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.44%

労務構成比:

30.39%

材料構成比:

59.17%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

541.41000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	4.22%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.27%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.07%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	13.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.91%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	4.67%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.36%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK20040234

単第0 -0090 表

RM-30

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.44%

労務構成比:

30.39%

材料構成比:

59.17%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

541.41000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	56.36%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	2.31%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 RM-30 H=1 -(全ての費用)			E=120 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm): 120.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0117

表層(車道・路肩部)

SPK20040241

単第0 -0091 表

平均幅員1.4m以上3.0m以下

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.81%

労務構成比:

13.91%

材料構成比:

84.28%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,634.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4~3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.21%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.25%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.22%		タイヤローラ 質量3~4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.96%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	3.41%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.36%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	1.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK20040241

単第0 -0091 表

平均幅員1.4m以上3.0m以下

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.81%

労務構成比:

13.91%

材料構成比:

84.28%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,634.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルト混合物 粗粒度(20)	76.98%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0037 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.05%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.24%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=5 粗粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

薬液注入工

SG1D0039001

単第0 -0093 表

頁0 -0120

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.136	人			
特殊作業員	0.408	人			
普通作業員	0.272	人			
注入材料 溶液型無機瞬結タイプ	1,018.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.272	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.272	日			
削孔消耗材料費	4.300	m			単第0-0094 表
削孔消耗材料費	1.300	m			単第0-0095 表
注入消耗材料費	1.018	kL			単第0-0096 表 1018/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 単相方式 2セット C=4.3 砂質土の削孔長(m) E=5.09 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=1.3 粘性土の削孔長(m) F=5 注入本数(本)		

施工単価表

薬液注入工

SG1D0039001

単第0 -0097 表

頁0 -0125

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.137	人			
特殊作業員	0.411	人			
普通作業員	0.274	人			
注入材料 溶液型無機瞬結タイプ	1,018.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.274	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.274	日			
削孔消耗材料費	4.400	m			単第0-0094 表
削孔消耗材料費	1.300	m			単第0-0095 表
注入消耗材料費	1.018	kL			単第0-0096 表 1018/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 単相方式 2セット C=4.4 砂質土の削孔長(m) E=5.09 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=1.3 粘性土の削孔長(m) F=5 注入本数(本)		

施工単価表

薬液注入工

SG1D0039001

単第0 -0098 表

頁0 -0127

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.127	人			
特殊作業員	0.382	人			
普通作業員	0.255	人			
注入材料 溶液型無機瞬結タイプ	1,012.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.255	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.255	日			
削孔消耗材料費	3.400	m			単第0-0094 表
削孔消耗材料費	1.300	m			単第0-0095 表
注入消耗材料費	1.012	kL			単第0-0096 表 1012/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 単相方式 2セット C=3.4 砂質土の削孔長(m) E=5.06 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=1.3 粘性土の削孔長(m) F=5 注入本数(本)		

施工単価表

注入設備据付・解体工(車上)

SG1D0039004

単第0 -0099 表

頁0 -0129

1
現場 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.6	人			
普通作業員	3.7	人			
トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	14.5	時間			単第0-0100 表
トラック 普通型 4~4.5t積	2.600	日			2*1.3 供用日の割増率 α
諸雑費	1	式			
トラック損料(注入時)	5.098	日			単第0-0101 表
*** 単位当たり ***	1	現場			
A=20 総注入量(kL) C=5 1日当り施工本数(本)			B=1.02 1本当り注入量(kL/本) D=1.3 供用日の割増率 α		

施工単価表

報告書作成

V00103

単第0 -0111 表

頁0 -0141

800 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量主任技師 (外業)	1	人			
測量技師 (外業)	1	人			
測量技師補 (外業)	1	人			
DVD	1	枚			
写真代 CD/DVDプリント代	1	式			
雑材料	1	%			#01
*** 合計 ***	800	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

数量計算書

上段:当初 下段:変更

VPφ200		塩ビ推進(泥水一工式)						管 材				備考
路線番号	路線延長 m	マンホール 延長 m	立坑減長 m	管体延長 m	推進延長 m	布設延長 m	推進管 1.00 本	ゴム受直管 4.00 本	副管継手 1.00 本	カラー 1 本	可とう継手 2 本	
M13 ~ M14	75.00	(0.45 + 0.45) 0.90	(1.00 + 0.75) 1.75	74.10	73.25	0.85	74	1			2	砂1<N≤30 スパイラル
計	75.00	0.90	1.75	74.10	73.25	0.85	74	1			2	
管径	VP φ200	粘1≤N≤10	粘10<N≤15	固15<N≤40	砂1<N≤30	砂30<N≤50						
スパン	1	SUSカラー 本数	スパイラル 本数	74 本数	ゴム受直 本数	1 本数	マンホール継手 本数	接着カラー 本数		可とう継手 本数	2 本数	

数量計算書

推進工

VPφ200

工種	種別	算定			数量	
管体延長				= 74.10	74.10	m
管 材	スパイラル付直管 先導管	φ200×1.00	1 スパン	= 1	1	本
	スパイラル付直管 最終管	φ200×1.00	1 スパン	= 1	1	本
	スパイラル付直管 標準管	φ200×1.00	74 - 1 - 1	= 72	72	本
	ゴム輪受口片受直管 φ200			= 1	1	本
	可とう性継手 φ200			= 2	2	本
	カラー(本管用) φ200			= 0	0	本
塩ビ管用接着材	φ200		73 箇所 × 55 g	= 4015	4.0	kg
塩ビ管用滑材	φ200		3 箇所 × 25 g	= 75	0.1	kg
推 進 工	推進工 砂1<N≤30	73.25	- 0.00 - 0.00	= 73.25	73.25	m
残土処分工		物質収支計算より		= 2.860	2.9	m ³
泥水処分工		物質収支計算より		= 3.370	3.4	m ³
坑 口 工	φ200		1 スパン × 2 箇所 - 0 箇所	= 2	2	ヶ所
	既設人孔部		0 箇所	= 0	0	ヶ所
既設マンホール到達工				= 0	0	ヶ所
推進設備工				= 1	1	ヶ所
推進設備工(方向転換工)				= 1	1	ヶ所
鏡切り工	φ200		1 スパン × 2 箇所 0	= 2	2	ヶ所
		切断延長	1.2 m/ヶ所			

数量計算書

推進工

VPφ250

工種	種別	算定			数量	
管体延長				= 61.90	61.90	m
管 材	スパイラル付直管 先導管	φ250×1.00	1 スパン	= 1	1	本
	スパイラル付直管 最終管	φ250×1.00	1 スパン	= 1	1	本
	スパイラル付直管 標準管	φ250×1.00	61 - 1 - 1	= 59	59	本
	ゴム輪受口片受直管 φ250			= 1	1	本
	可とう性継手 φ250			= 2	2	本
	カラー(本管用) φ250			= 0	0	本
塩ビ管用接着材	φ250		60 箇所 × 90 g	= 5400	5.4	kg
塩ビ管用滑材	φ250		3 箇所 × 35 g	= 105	0.1	kg
推進工	推進工 砂1<N≤30	60.80	- 0.00 - 0.00	= 60.80	60.80	m
残土処分工		物質収支計算より		= 3.400	3.4	m ³
泥水処分工		物質収支計算より		= 5.190	5.2	m ³
坑口工	φ250		1 スパン × 2 箇所 - 0 箇所	= 2	2	ヶ所
	既設人孔部		0 箇所	= 0	0	ヶ所
既設マンホール到達工				= 0	0	ヶ所
推進設備工				= 0	0	ヶ所
推進設備工(方向転換工)				= 0	0	ヶ所
鏡切り工	φ250		1 スパン × 2 箇所 0	= 2	2	ヶ所
		切断延長	1.4 m/ヶ所			

鋼製ケーシング式立坑（揺動圧入式） 数量集計表

工 種	名 称	種 別	単 位	φ2000 発進/到達立坑	φ1500 到達立坑	合計	
立坑寸法	横 寸 法	呼 び 径	mm	2.000	1.500		
		外 径	mm	2.090	1.590		
		内 径	mm	2.066	1.566		
土 工	機 械 掘 削		m ³	19.20	8.80	28.00	
	機 械 埋 戻 工	購 入 土	m ³	21.2	3.3	24.5	
	コ ン ク リ ー ト 埋 戻 工	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³				
	発 生 土 処 分 工	圧 入 掘 削 部	m ³	14.5	5.1	19.6	
ケーシング		φ2.000mm	m	5.30		5.30	
		φ1.500mm	m		4.20	4.20	
仮 設 ケーシング	l=2.00 m	φ2.000mm	回	1		1	
		φ1.500mm	回		1	1	
機 械 設 置 撤 去 工		φ2.000mm	回	1		1	
		φ1.500mm	回		1	1	
圧 入 掘 削 積 込 工	粘性土	N 値 ≤ 5	m	1.300	1.300	2.600	
		5 < N 値 ≤ 30	m				
		砂 質 土	N 値 ≤ 30	m	4.796	3.686	8.482
		砂 質 土	30 < N 値 ≤ 50	m			
		礫 質 土	N 値 ≤ 30	m			
		礫 質 土	30 < N 値 ≤ 50	m			
ケーシング 引 抜 工			m	0.90	0.90	1.80	
ケーシング 溶 接 工			m	12.57	4.71	17.28	
底 盤 コ ン ク リ ー ト			m ³	3.41	1.97	5.38	
ス ラ イ ム 処 理 工			箇所	1.0	1.0	2	
ス ラ イ ム 処 分 工			m ³	1.20	0.70	1.90	
ケーシング 切 断 工			m	23.72	10.37	34.09	
スクラップ ケーシング 重 量			t	1.746	0.675	2.421	
		単 位 重 量	t/m	0.614	0.467	-	
		重 量 (往)	t	4.482	2.895	7.377	
		重 量 (復)	t	1.228	0.934	2.162	
覆 工 板	円形	φ2.000mm	箇所	2		2	
		φ1.500mm	箇所		1	1	

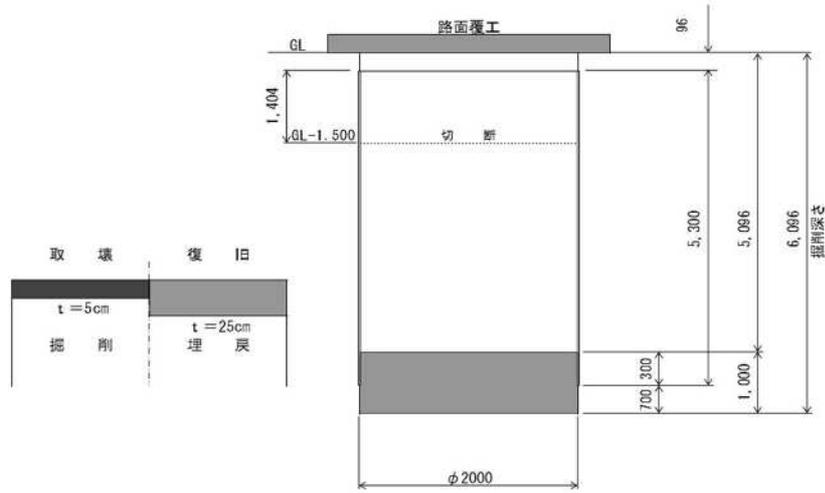
鋼製ケーシング式立坑（揺動圧入式 φ2,000mm） 数量集計表

3 / 10

工 種	名 称	種 別	単 位	M13 発進立坑	MO-2 到達立坑(残置)		合計
立坑寸法	横 寸 法	呼 び 径	mm	2.000			
		外 径	mm	2.090			
		内 径	mm	2.066			
土 工	機 械 掘 削		m ³	19.20			19.20
	機 械 埋 戻 工	発 生 土 機 械 投 入	m ³	10.6	10.6		21.2
	発 生 土 処 分 工	圧 入 掘 削 部	m ³	7.4	7.1		14.5
ケーシング 仮 設		φ2,000mm	m	5.30			5.30
ケーシング 機 械 設 置	l=2.00 m	φ2,000mm	回	1.0			1
撤 去 工		φ2,000mm	回	1.0			1
圧入掘削 積込工	粘性土	N値≤5	m	1.300			1.300
	粘性土	5<N値≤30	m				
	砂質土	N値≤30	m	4.796			4.796
	砂質土	30<N値≤50	m				
	礫質土	N値≤30	m				
	礫質土	30<N値≤50	m				
ケーシング 引 抜 工			m	0.90			0.90
ケーシング 溶 接 工			m	12.57			12.57
底 盤 コンクリート			m ³	3.41			3.41
スライム 処 理 工			箇所	1.0			1
スライム 処 分 工			m ³	1.20			1.20
ケーシング 切 断 工			m	11.90	11.82		23.72
スクラップ ケーシング			t	0.887	0.859		1.746
重 量	単 位 重 量		t/m	0.614			-
	重 量 (往)		t	4.482			4.482
	重 量 (復)		t	1.228			1.228
覆 工 板	円形	φ2,000mm	箇所	1.0	1.0		2
調整コンク リート工			m ³	0.40	0.30		0.70

M13発進立坑

鋼製ケーシング立坑工数量計算書



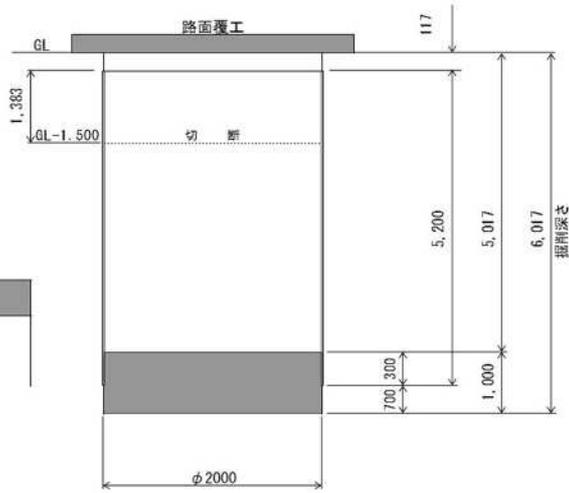
1箇所当り

名称	種別	算式	単位	数量
立坑寸法	φ2.000	外径 φ2.090 内径 φ2.066		
ケーシング	先頭ケーシング	L = 2.40 m 1本		
	中間ケーシング	L = 2.40 m 1本		
	中間ケーシング	L = m 本		
	中間ケーシング	L = m 本		
	最終ケーシング	L = 0.50 m 1本	ケーシング長合計	m 5.30
	仮設ケーシング	φ2.000	L = 2.00 m	回
圧入掘削積込工	粘性土 N ≤ 5		m	1.300
	粘性土 5 < N ≤ 30		m	
	砂質土 N ≤ 30		m	4.796
	砂質土 30 < N ≤ 50		m	
	礫質土 N ≤ 30		m	
	礫質土 30 < N ≤ 50		m	
			(圧入掘削積込工合計)	m
ケーシング引抜き工			m	0.900
ケーシング溶接工			m	12.57
底盤コンクリート		$2.000^2 \times \pi \times 0.70 + 2.066^2 \times \pi \times 0.30$	m ³	3.41
スライム処分工		「推進工法用設計積算要領 推進立坑編 日本下水道管渠推進技術協会」より	m ³	1.20
ケーシング切断工		$2.000 \times \pi + 1.404 \times 4$	m	11.90
スクラップ	撤去部	$1.404 \times 0.614 = 0.862$		
	鏡切り部	$2 \times \pi/4 \times 0.316^2 \times 0.094 = 0.015$		
	鏡切り部	$1 \times \pi/4 \times 0.367^2 \times 0.094 = 0.010$		
	スクラップ合計	$0.862 + 0.015 + 0.010$	t	0.887

名称	種別	算式				単位	数量	
掘削工		$\pi/4$	\times	2.000^2	\times	6.096	m ³	19.2
埋戻工	発生土	$\pi/4$	\times	2.000^2	\times	4.961	m ³	10.6
コンクリート埋戻工	調整 CON $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$\pi/4$	\times	2.000^2	\times	0.135	m ³	0.4
残土処分工	圧入掘削部	19.2	-	10.6	/	0.9	m ³	7.4
既設舗装版取壊し工								
舗装切断	As-5-10-10 t=15cm以下 BH0.45m ³	2.00	\times	4			m	8.0
舗装取壊し	t=15cm以下	2.00	\times	2.00			m ²	4.00
Asガラ処分	t=5cm	2.00	\times	2.00	\times	0.05	m ³	0.20
仮復旧工								
上層路盤工	M-30 t=12cm	2.00	\times	2.00			m ²	4.00
下層路盤工	RCA-40 t=10cm	2.00	\times	2.00			m ²	4.00
仮舗装工	t=3cm	2.00	\times	2.00			m ²	4.00
本復旧工								
舗装切断	As-5-10-10 t=15cm以下 BH0.45m ³	2.40	\times	4			m	9.6
舗装取壊し	t=15cm以下	2.40	\times	2.40			m ²	5.76
Asガラ処分	既設舗装版 t=5cm	(5.76	-	4.00)	\times	0.05	m ³	0.09
Asガラ処分	仮舗装 t=3cm	2.00	\times	2.00	\times	0.03	m ³	0.12
表層工	再生密粒度As t=5cm	2.40	\times	2.40			m ²	5.76

M0-2到達立坑 (残置)

鋼製ケーシング立坑工数量計算書



1箇所当り

名称	種別	算式	単位	数量
立坑寸法	φ2.000	外径 φ2.090 内径 φ2.066		
掘削 積込工	粘性土 N ≤ 5		m	
	粘性土 5 < N ≤ 30		m	
	砂質土 N ≤ 30		m	6.017
	砂質土 30 < N ≤ 50		m	
	礫質土 N ≤ 30		m	
	礫質土 30 < N ≤ 50		m	
		(圧入掘削積込工合計)		m
ケーシング 切断工		$2.000 \times \pi + 1.383 \times 4$	m	11.82
スクラップ 撤去部		$1.383 \times 0.614 = 0.849$		
	鏡切り部	$1 \times \pi/4 \times 0.367^2 \times 0.094 = 0.010$		
	鏡切り部	$\pi/4 \times \quad^2 \times 0.094 =$		
	スクラップ 合計	$0.849 + 0.010$	t	0.859

名称	種別	算式				単位	数量	
掘削工		$\pi/4$	\times	2.000^2	\times	6.017	m ³	18.9
埋戻工	発生土	$\pi/4$	\times	2.000^2	\times	4.932	m ³	10.6
コンクリート埋戻工	調整 CON $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$\pi/4$	\times	2.000^2	\times	0.085	m ³	0.3
残土処分工	圧入掘削部	18.9	-	10.6	/	0.9	m ³	7.1
既設舗装版取壊し工								
舗装切断	As-5-10-10 t=15cm以下 BHO. 45m ³	2.00	\times	4			m	8.0
舗装取壊し	t=15cm以下	2.00	\times	2.00			m ²	4.00
Asガラ処分	t=5cm	2.00	\times	2.00	\times	0.05	m ³	0.20
仮復旧工								
上層路盤工	M-30 t=12cm	2.00	\times	2.00			m ²	4.00
下層路盤工	RCA-40 t=10cm	2.00	\times	2.00			m ²	4.00
仮舗装工	t=3cm	2.00	\times	2.00			m ²	4.00
本復旧工								
舗装切断	As-5-10-10 t=15cm以下 BHO. 45m ³	2.40	\times	4			m	9.6
舗装取壊し	t=15cm以下	2.40	\times	2.40			m ²	5.76
Asガラ処分	既設舗装版 t=5cm	(5.76	-	4.00)	\times	0.05	m ³	0.09
Asガラ処分	仮舗装 t=3cm	2.00	\times	2.00	\times	0.03	m ³	0.12
表層工	再生密粒度As t=5cm	2.40	\times	2.40			m ²	5.76

鋼製ケーシング式立坑（揺動圧入式） 数量集計表

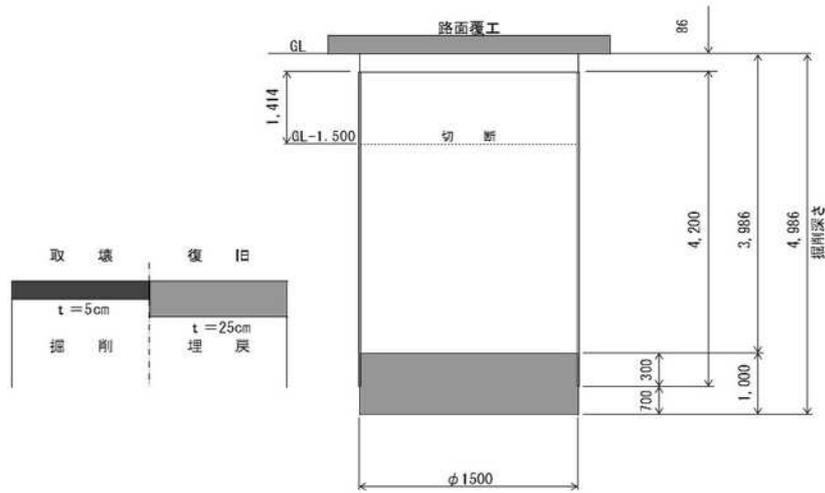
工 種	名 称	種 別	単 位	φ2000 発進/到達立坑	φ1500 到達立坑	φ2000 通過立坑	合計	
立坑寸法	横 寸 法	呼 び 径	mm	1.500				
		外 径	mm	1.590				
		内 径	mm	1.566				
土 工	機 械 掘 削		m ³	8.80			8.80	
	機 械 埋 戻 工	購 入 土	m ³	3.3			3.3	
	機 械 埋 戻 工	機 械 投 入	m ³					
	機 械 埋 戻 工	σ _{ck} =18N/mm ²	m ³					
	発 生 土 処 分 工	圧 入 掘 削 部	m ³	5.1			5.1	
ケーシング		φ1.500mm	m	4.20			4.20	
		φ0mm	m					
仮 設 ケーシング	l=2.00 m	φ1.500mm	回	1			1	
		φ0mm	回					
機 械 設 置 撤 去 工		φ1.500mm	回	1			1	
		φ0mm	回					
圧 入 掘 削 積 込 工	粘性土	N値≤5	m	1.300			1.300	
		5<N値≤30	m					
		砂質土	N値≤30	m	3.686			3.686
		砂質土	30<N値≤50	m				
		礫質土	N値≤30	m				
		礫質土	30<N値≤50	m				
ケーシング 引 抜 工			m	0.90			0.90	
ケーシング 溶 接 工			m	4.71			4.71	
底 盤 コンクリート			m ³	1.97			1.97	
スライム 処 理 工			箇所	1.0			1	
スライム 処 分 工			m ³	0.70			0.70	
ケーシング 切 断 工			m	10.37			10.37	
スクラップ ケーシング 重 量			t	0.675			0.675	
		単 位 重 量	t/m	0.467			-	
		重 量 (往)	t	2.895			2.895	
		重 量 (復)	t	0.934			0.934	
覆 工 板	円形	φ1.500mm	箇所	1			1	
		φ0mm	箇所					

鋼製ケーシング式立坑（揺動圧入式 φ1,500mm） 数量集計表

工 種	名 称	種 別	単 位	M14 到達立坑					合計	
立坑寸法	横 寸 法	呼 び 径	mm	1.500						
		外 径	mm	1.590						
		内 径	mm	1.566						
土 工	機 械 掘 削		m ³	8.80					8.80	
		発 生 土 機 械 埋 戻 工 機 械 投 入	m ³	3.3					3.3	
		発 生 土 処 分 工 圧 入 掘 削 部	m ³	5.1					5.1	
ケーシング 仮 設	l= 2.00 m	φ1.500mm	m	4.20					4.20	
ケーシング 機 械 設 置		φ1.500mm	回	1.0					1	
撤 去 工		φ1.500mm	回	1.0					1	
圧入掘削 積込工	粘性土	N値≤5	m	1.300					1.300	
		5<N値≤30	m							
		砂質土	N値≤30	m	3.686					3.686
		砂質土	30<N値≤50	m						
		礫質土	N値≤30	m						
		礫質土	30<N値≤50	m						
ケーシング 引 抜 工			m	0.90					0.90	
ケーシング 溶 接 工			m	4.71					4.71	
底 盤 コンクリート			m ³	1.97					1.97	
スライム 処 理 工			箇所	1.0					1	
スライム 処 分 工			m ³	0.70					0.70	
ケーシング 切 断 工			m	10.37					10.37	
スクラップ ケーシング			t	0.675					0.675	
重 量		単 位 重 量	t / m	0.467					-	
		重 量 (往)	t	2.895					2.895	
		重 量 (復)	t	0.934					0.934	
覆 工 板 調 整 コン ク リ ー ト 工	円形	φ1.500mm	箇所	1.0					1	
			m ³							

M14到達立坑

鋼製ケーシング立坑工数量計算書



1箇所当り

名称	種別	算式	単位	数量
立坑寸法	φ1,500	外径 φ1,590 内径 φ1,566		
ケーシング	先頭ケーシング	L = 2.40 m 1本		
	中間ケーシング	L = m 本		
	中間ケーシング	L = m 本		
	中間ケーシング	L = m 本		
	最終ケーシング	L = 1.80 m 1本	ケーシング長合計	m 4.20
	仮ケーシング	φ1,500	L = 2.00 m	回
圧入掘削積込工	粘性土 N ≤ 5		m	1.300
	粘性土 5 < N ≤ 30		m	
	砂質土 N ≤ 30		m	3.686
	砂質土 30 < N ≤ 50		m	
	礫質土 N ≤ 30		m	
	礫質土 30 < N ≤ 50		m	
			(圧入掘削積込工合計)	m
ケーシング引抜工			m	0.900
ケーシング溶接工			m	4.71
底盤コンクリート		$1.500 \times \pi \times 1 + 1.590^2 \times \frac{\pi}{4} \times 0.70 + 1.566^2 \times \frac{\pi}{4} \times 0.30$	m ³	1.97
スライム処分工		「推進工法用設計積算要領 推進立坑編 日本下水道管渠推進技術協会」より	m ³	0.70
ケーシング切断工		$1.500 \times \pi + 1.414 \times 4$	m	10.37
スクラップ	撤去部	$1.414 \times 0.467 = 0.660$		
	鏡切り部	$2 \times \frac{\pi}{4} \times 0.316^2 \times 0.094 = 0.015$		
	鏡切り部	$\frac{\pi}{4} \times \quad^2 \times 0.094 =$		
	スクラップ合計	$0.660 + 0.015$	t	0.675

名称	種別	算式	単位	数量
掘削工		$\pi/4 \times 1.500^2 \times 4.986$	m ³	8.8
埋戻工	発生土	$\pi/4 \times 1.500^2 \times 3.986$ -	m ³	3.3
コンクリート埋戻工	調整 CON $\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$\pi/4 \times 1.500^2 \times$ -	m ³	
残土処分工	圧入掘削部	8.8 - 3.3 / 0.9	m ³	5.1
既設舗装版取壊し工				
舗装切断	As-5-10-10 t=15cm以下 BH0.45m ³	1.50 × 4	m	6.0
舗装取壊し	t=15cm以下	1.50 × 1.50	m ²	2.25
Asガラ処分	t=5cm	1.50 × 1.50 × 0.05	m ³	0.11
仮復旧工				
上層路盤工	M-30 t=12cm	1.50 × 1.50	m ²	2.25
下層路盤工	RCA-40 t=10cm	1.50 × 1.50	m ²	2.25
仮舗装工	t=3cm	1.50 × 1.50	m ²	2.25
本復旧工				
舗装切断	As-5-10-10 t=15cm以下 BH0.45m ³	1.90 × 4	m	7.6
舗装取壊し	t=15cm以下	1.90 × 1.90	m ²	3.61
Asガラ処分	既設舗装版 t=5cm	(3.61 - 2.25) × 0.05	m ³	0.07
Asガラ処分	仮舗装 t=3cm	1.50 × 1.50 × 0.03	m ³	0.07
表層工	再生密粒度As t=5cm	1.90 × 1.90	m ²	3.61

二重管ストレーナ薬液注入工 (複相・溶液型)

当初

路線番号： 4910

施工箇所： M0-2 上流側

1 箇所当り 削孔本数= 5

【施工面積A： 4.600 m²】 2 セット (施工本数が100本未満の場合は2セット、100本以上の場合は4セットを標準とする。)

		入力データ						1 本 当 り						2セット1日当り		2セット当り	
施工箇所	削孔長	注 入 長		対象土量	注入率	総注入量	注入量	機械準備 時間	削 孔 時 間		注入時間	引抜時間	施工時間	施工本数	注入量	トラック 運転日	
		L 1	N 値						γ 1分/m	Σ γ 1*L							qs=16l/分
土層種別	L	N 値	L 1	v	λ	v*λ	V*1000/n	T1 分	削孔時間	γ 1分/m	T 2 分	Q s / q s	γ 2*L 2	+T 3+T 4	(60*H)/Ts*2	/1000	V/(Qs*N)
	m		m	m ³	%	V kl	Q s l	T1 分	γ 1分/m	T 2 分	T 3 分	T 4 分	T s 分	N 本/日	Qd kl	D 日	
	5.620		2.800	12.880		5.085	1,017	15.00		47.980	63.563	5.640	132.183	5.72	5.817	0.874	
砂礫土		10~30		0.000	40.0	0.000	0		19.00	0.000	0.000				0.000	供用日数	
		30~50		0.000	28.0	0.000	0		0.000	0.000	0.000				0.000		
		50以上		0.000	20.0	0.000	0		0.000	0.000	0.000				0.000		
砂質土	4.320	0~10	1.820	8.372	40.0	3.349	670		9.00	38.880	41.875	土被り	H=6.3hr とする。	3.832	D' =D*1.3		
		10~30		0.000	32.0	0.000	0	※打設間	0.000	0.000	0.000	L2=L-L1=		0.000			
		30以上		0.000	21.0	0.000	0	隔は1m	0.000	0.000	0.000	2.820		0.000		D' 日	
粘性土	1.300	0~ 4	0.980	4.508	38.5	1.736	347		7.00	9.100	21.688			1.985	1.136		
		4~ 8		0.000	30.0	0.000	0	を標準と	0.000	0.000	0.000		0.000				
		8~15		0.000	15.0	0.000	0	する。	0.000	0.000	0.000		0.000				

二重管ストレーナ薬液注工 (複相・溶液型)

当初

路線番号： 4909

施工箇所： M13 上流側

1箇所当り 削孔本数= 5

【施工面積A： 4.600 m²】 2セット (施工本数が100本未満の場合は2セット、100本以上の場合は4セットを標準とする。)

		入力データ						1 本 当 り						2セット1日当り		2セット当り
施工箇所	削孔長	注 入 長		対象土量	注入率	総注入量	注入量	機械準備 時間	削 孔 時 間	注入時間	引抜時間	土被り 施工時間	施工本数	注入量	トラック 運転日	
		N 値	L 1													注入力
土層種別	L	N 値	L 1	v	λ	v*λ	V*1000/n	T1 分	γ 1分/m	T2 分	qs=16l/分 Q s / q s	γ 2=2分/m γ 2*L 2	T 1+T 2 +T 3+T 4	(60*H)/Ts*2	Qs*N /1000	V/(Qs*N) D 日
	m		m	m3	%	V kl	Q s l	T1 分	γ 1分/m	T2 分	T3 分	T4 分	Ts 分	N 本/日	Qd kl	D 日
	5.641		2.800	12.880		5.086	1,018	15.00		48.169	63.625	5.682	132.476	5.71	5.812	0.875
砂礫土		10~30		0.000	40.0	0.000	0		19.00	0.000	0.000				0.000	供用日数
		30~50		0.000	28.0	0.000	0		0.000	0.000					0.000	
		50以上		0.000	20.0	0.000	0		0.000	0.000					0.000	
砂質土	4.341	0~10	1.841	8.469	40.0	3.388	678		9.00	39.069	42.375	土被り	H=6.3hr とする。	3.871	D' =D*1.3	
		10~30		0.000	32.0	0.000	0	※打設間		0.000	0.000	L2=L-L1=		0.000		
		30以上		0.000	21.0	0.000	0	隔は1m		0.000	0.000	2.841		0.000		D' 日
粘性土	1.300	0~ 4	0.959	4.411	38.5	1.698	340		7.00	9.100	21.250			1.941	1.138	
		4~ 8		0.000	30.0	0.000	0	を標準と		0.000	0.000			0.000		
		8~15		0.000	15.0	0.000	0	する。		0.000	0.000			0.000		

二重管ストレーナ薬液注工 (複相・溶液型)

当初

路線番号： 4909

施工箇所： M14 下流側

1箇所当り 削孔本数= 5

【施工面積A： 4.600 m²】 2セット (施工本数が100本未満の場合は2セット、100本以上の場合は4セットを標準とする。)

入力データ		1 本 当 り											2セット1日当り	2セット当り		
施工箇所	削孔長	注 入 長		対象土量	注入率	総注入量	注入量	機械準備	削 孔 時 間	注入時間	引抜時間	土被り	施工時間	施工本数	注入量	トラック
土層種別	L	N 値	L 1	v	λ	v*λ	V*1000/n	時間	m当り	qs=16l/分	γ 2=2分/m	T 1+T 2	Qs*N	V/(Qs*N)	運転日	
	m		m	m ³	%	V kl	Q s l	T1 分	削孔時間	Σ γ 1*L	Q s / q s	γ 2*L 2	+T 3+T 4	(60*H)/Ts*2	/1000	V/(Qs*N)
									γ 1分/m	T 2 分	T 3 分	T 4 分	T s 分	N 本/日	Q d kl	D 日
	4.716		2.800	12.880		5.062	1,012	15.00		39.844	63.250	3.832	121.926	6.20	6.274	0.807
砂礫土		10~30		0.000	40.0	0.000	0		19.00	0.000	0.000				0.000	
		30~50		0.000	28.0	0.000	0			0.000	0.000				0.000	供用日数
		50以上		0.000	20.0	0.000	0			0.000	0.000				0.000	
砂質土	3.416	0~10	1.500	6.900	40.0	2.760	552		9.00	30.744	34.500	土被り	H=6.3hr	3.422	D' =D*1.3	
		10~30		0.000	32.0	0.000	0	※打設間		0.000	0.000	L2=L-L1=	とする。	0.000		
		30以上		0.000	21.0	0.000	0	隔は1m		0.000	0.000	1.916		0.000	D' 日	
粘性土	1.300	0~ 4	1.300	5.980	38.5	2.302	460	を標準と	7.00	9.100	28.750			2.852		
		4~ 8		0.000	30.0	0.000	0	する。		0.000	0.000			0.000		
		8~15		0.000	15.0	0.000	0			0.000	0.000			0.000	1.049	



施工箇所

10,000

令和3年度 公共下水道事業	
工事名	円一第1処理分区污水管 新設工事 (3-2)
工事場所	三原市円一町一丁目
図面番号	縮尺
位置図	
三原市	